

1. 件名：「日本原燃(株)の設工認申請に係るヒアリング（再処理施設(2-1)、  
廃棄物管理施設(1)」

2. 日時：令和5年1月6日（金） 13時30分～17時30分

3. 場所：原子力規制庁 10階会議室（一部TV会議により実施）

4. 出席者

原子力規制庁

原子力規制部

核燃料施設審査部門

（原子力規制部新基準適合性審査チーム）

長谷川安全規制管理官、古作企画調査官、大橋上席安全審査官、田尻主任安全審査官、羽場崎主任安全審査官、藤原主任安全審査官、大岡安全審査官、上出安全審査官、武田安全審査官、高梨安全審査専門職、清水係員

日本原燃株式会社

大柿専務執行役員再処理・MOX燃料加工安全設計総括

決得執行役員再処理事業部副事業部長（設工認総括、新基準設計）

松本執行役員技術本部副本部長（土木建築） 他23名

東京電力ホールディングス株式会社

サイクル技術グループ グループマネージャー

北海道電力株式会社 原子力事業統括部

原子燃料サイクルグループリーダー

5. 自動文字起こし結果

別紙のとおり

※音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

6. その他

提出資料

なし

## 参考

- ・ 日本原燃株式会社 再処理事業所 規制法令及び通達に係る文書（令和４年１２月２６日）  
「日本原燃（株）から再処理事業所再処理施設の設計及び工事の計画の認可申請を受理」  
[https://www.nra.go.jp/disclosure/law\\_new/REP/180000120.html](https://www.nra.go.jp/disclosure/law_new/REP/180000120.html)
- ・ 日本原燃株式会社 再処理事業所 規制法令及び通達に係る文書（令和４年１２月２６日）  
「日本原燃（株）から再処理事業所再処理施設の設計及び工事の計画の変更の認可申請を受理」  
[https://www.nra.go.jp/disclosure/law\\_new/REP/180000121.html](https://www.nra.go.jp/disclosure/law_new/REP/180000121.html)
- ・ 日本原燃株式会社 再処理事業所 規制法令及び通達に係る文書（令和４年１２月２６日）  
「日本原燃（株）から再処理事業所再処理施設の設計及び工事の計画の変更の認可申請を受理」  
[https://www.nra.go.jp/disclosure/law\\_new/REP/180000122.html](https://www.nra.go.jp/disclosure/law_new/REP/180000122.html)
- ・ 日本原燃株式会社 再処理事業所 規制法令及び通達に係る文書（令和４年１２月２６日）  
「日本原燃（株）から再処理事業所再処理施設の設計及び工事の計画の変更の認可申請を受理」  
[https://www.nra.go.jp/disclosure/law\\_new/REP/180000123.html](https://www.nra.go.jp/disclosure/law_new/REP/180000123.html)  
[https://www.nsr.go.jp/disclosure/law\\_new/FAB/180000124.html](https://www.nsr.go.jp/disclosure/law_new/FAB/180000124.html)
- ・ 日本原燃株式会社 高レベル放射性廃棄物貯蔵管理センター 規制法令及び通達に係る文書（令和４年１２月２６日）  
「日本原燃（株）から特定廃棄物管理施設の設計及び工事の計画の認可申請を受理」  
[https://www.nra.go.jp/disclosure/law\\_new/REP/180000124.html](https://www.nra.go.jp/disclosure/law_new/REP/180000124.html)
- ・ 令和５年１月５日  
「日本原燃（株）再処理施設、廃棄物管理施設の設工認申請に関する資料提出」

時間	自動文字起こし結果
0:00:00	規制庁の武田です。それではただいまから日本原燃とのヒアリングを開始します。
0:00:05	本日のヒアリングは、令和4年の12月に申請があった設工認申請について、提出があった資料をもとに技術確認を行うものになります。
0:00:16	まず規制庁側の出席者ですが本庁側から、長谷川管理官、古作調査官。
0:00:21	あとはタジリフジワラカミデ a タケダ、
0:00:26	本庁側から以上になります。ウェブからの出席が、
0:00:30	大岡浜崎。
0:00:33	オオハシシミズ。
0:00:35	タカナシ以上になります。
0:00:37	それでは日本原燃の方から、出席者の紹介等議題の構成、あとは説明範囲達成目標について説明をお願いします。
0:00:47	東京側、日本原燃ですけれども、決得サトウ、イシハラ、ハセガワ、
0:00:54	六ヶ所側ちょっと紹介をお願いします。
0:00:57	福士ナカハマです。ハセガワから。
0:01:01	参加者ですけれども、大垣松元。
0:01:05	浦山。
0:01:07	林フジノナゴ。
0:01:10	スピンズ。
0:01:11	意味がシノザキ。
0:01:14	だ。
0:01:15	桑村。
0:01:16	サカモリ。
0:01:17	仲。
0:01:19	瀬野。
0:01:20	宇田能登。
0:01:22	足イナヅマオガセ。
0:01:25	クドウ。
0:01:26	ナカハマ。
0:01:28	東京支社からWEB参加で、サガワキクチ以上となります。
0:01:35	加来ですすみません。

0:01:38	第1回申請の時から、出席者のところを今、羅列されたんですけど、誰が何のために出席してるのか全くわからないので、
0:01:48	その仕分けをちゃんと説明して、その出席の目的をそれぞれの人が果たすように、
0:01:55	してください。
0:01:56	今日でいうと、
0:02:00	こちらに来られてる方は全体取りまとめ、
0:02:05	どういうふうに進めていくのか。
0:02:07	その考え方なりを説明されて、今後、今日話を踏まえて、
0:02:13	マネジメント、
0:02:15	ということだと理解して、
0:02:17	います。で、六ヶ所がワノー最初に言われた数にも、おそらくその、
0:02:25	単純に入る。
0:02:26	で、それ以降の方は条文担当で、今回の資料の中でも条文の内容を書かれてるところもあるので、
0:02:35	その部分について必要に応じて補足説明するだとか、お願いをする。
0:02:40	ということで参加されているという
0:02:44	はい。
0:02:45	すいません。
0:02:49	規制庁の長谷川ですけれども。
0:02:53	今日は、すいません。
0:02:55	まだ、話が残っているはずなんですけどどちらから。
0:03:01	僕はちょっと連携を図ってないです。私、私からちょっと紹介いたします本日資料、三つ提出させていただいております。一つ目資料1はですね、
0:03:13	今月11月末あたりに予定さ、23日に予定されている、審査会合に向けての資料案というのを資料1として準備させていただいております。
0:03:25	続いて資料2の方ですけれども、
0:03:29	こちらは、この資料一位で記載している内容を、もう一步踏み込んで詳細化したものです。具体的なヒアリングにおける説明をどう進めていきたいかといった事業者としての考え方を少しまとめたものが資料2となっております。

0:03:44	資料 3 は、そこに関連する補足、資料ですね、これの提出スケジュールをまとめたものになります。はい。
0:03:53	以上となります。これらについてご説明したいと考えております。以上です。
0:04:00	とりあえず今資料 123 と言われましたけど、結局、資料 2 なんかは特に資料 1 の方に入ってないと、対応として話ができないことだと思うんで、
0:04:13	そのあたりどう考えてるのか。
0:04:18	現状なり、
0:04:23	それでは資料 1、ちょっと構成を中心に説明して、資料 2 の、
0:04:30	継続して、
0:04:33	何か、
0:04:37	はい。ではまず資料 1 でございます。
0:04:42	冒頭、
0:04:44	2、3 ページ目までは先日申請させていただいた第 2 回の申請の概要をまとめてございます。
0:04:52	それで、メインのメインのところはですね、4 ページ以降になりまして、実際に申請した内容を、どういう
0:05:02	方針で説明していくかというのをですね、昨年末の会合の流れに沿ってですね、全条文をまとめたのが 4 ページ以降となつてございます。
0:05:12	4 ページは前回の会合でもご説明しました内容をですね、まとめるところはまとめるぞと、というような方針を下段の方にですね、解説として加えてございます。5 ページからが、
0:05:27	各条文におけるですね、具体的な説明の方針というのを、
0:05:31	まとめたものになります第 1 層と呼んでいた資料というのを、5 ページの 4 だとか、第 2 層か第 2 層と言っていた資料を 5 ページのようにまとめておりますし、
0:05:42	そっからもう 1 人したものを 6 ページ、第 3 章と呼んでた。
0:05:46	部分ですけれども、6 ページのようにまとめております。で、ちょっと先取りになりますけれども資料 2 の方がですね、この酸素、
0:05:54	介護資料としてはですね 6 ページのように、やはりこれでもまだ、
0:05:59	ざっくり、ばくつとしたような表現になっておりますので、この内容をですね、

0:06:05	より詳細に展開したものが、本日お配りしてる資料2のところ、
0:06:11	資料の2ページがそれに相当いたし、
0:06:15	同様の整理をですね、7ページ以降もですね、全条文に対して実施しております、ただですね本日の提出時点では、
0:06:26	主たる条文だけが、
0:06:28	この3層のところまでの深掘りをやっております、まだ二相どまりというようなところも、ちらほらございます。そこについては順次、
0:06:39	次回会合に向けて深掘りを進めていくという、整理を進めていく考えでございます。資料1については以上となります。
0:06:51	日本原燃の別府でございます。今言ったように審査会合ではですね、担保データですけども、例としまして、6条関係の耐震の話があるから、
0:07:03	古作です申し訳ない、
0:07:05	会合ではサンプルでっていうのは、この間の会合でのやつを全部
0:07:11	今回はこうですっていうだけ。いや、そういう説明ではなくて、
0:07:17	参考参考資料、12ページ以降には、電力としております。
0:07:22	いやじゃなくて、そういうのではなくて単純に全体を説明してもらわないと、申請をした初回の会合としてお話にならないでしょ。
0:07:32	ですね
0:07:34	何だろう。
0:07:35	代表でやるなら代表でこんなパターンでっていう、別に構わないんですけど、
0:07:40	今後細かく話をしてもらうのではなくてパターンごとにこういうふうに説明していきますということをちゃんと言っていたかと。
0:07:46	いうことが大事だと。
0:07:48	で、
0:07:49	どういうパターンになってんのっていうことすら、今日のわからないし、
0:07:55	しかも第3層と言われましたけど、これが本当に参考ですか。
0:08:03	いうことが全くわからない。
0:08:05	資料2の方見ても、それと整合しているようにもぱっと見えなくする。
0:08:12	この1と2の合併どうなってるんですかというところを、

0:08:15	もうもう少しちゃんとこの資料にこだわらずに、内容として説明して欲しかった。
0:08:20	はい。
0:08:22	わかりました。すいません。
0:08:25	さっき、
0:08:27	はい。
0:08:29	昨年末からですねきちんと一層二相 3 層というその展開の繋がりを意識してといったところの、
0:08:37	肝に銘じてたつもりなんですが、資料 2 のところですね。
0:08:41	資料 2 と、資料 1 の 6 ページ、6 ページ、5、6 ページちょっとご覧になっていただきたいんですが、
0:08:48	リンクはさせているつもりですがちょっとナンバリングとかキーワードの義務づけというのは、ちょっとできてないというのが現状になります。ごめんなさい。そういう細かな話じゃなくて、
0:09:01	そもそも書いてあるコンセプトなり内容が整合してるように、
0:09:05	Cはどうヒアリングを進めたいとか会合で説明したいと。
0:09:10	全くわからない。
0:09:12	で、一番大きなもん、私として一番大きな問題だと思ってるのは、
0:09:17	ヒアリングで説明をしますというための、
0:09:22	説明方針を変えていくようにしか見えない。
0:09:24	我々は審査会合で説明。
0:09:28	審査会合月 1 やろうかなと思って話をしてますけど、
0:09:34	なおかつの会合ではここまで説明し切るんだと。
0:09:38	それによって全体が放管できた説明をしていくんだっていう、
0:09:42	心構え見せて欲しいんです。はい。
0:09:53	これで何がわかるんですか。
0:09:55	どう、どう思ってるんですか。
0:09:57	見てもわかんないから、資料にかかわらず、説明してくださいと申し上げ
0:10:02	はい。
0:10:07	まだ、いつの会合にどこまで、説明できるでしたいんだといった部分は全然表現できてないのが実態、見ていただいてわかったんです。資料の説明がいらないって言うてるから。

0:10:19	何したいのかを言えば、資料が必然的にできてくるから。はい。資料の説明はもう要らない。はい。
0:10:27	えっとですねどう進めたいかをちょっと述べさせていただきます。
0:10:33	えーとですね、大木空南條と言いましたっけ。今、資料2の方にまとめている条文たちですね、地震後在庫、
0:10:45	そして、
0:10:47	8条の外部書記格竜巻、
0:10:50	あと、溢水薬品、SA、こういったのが、主軸になる部分だと思っています。
0:10:56	というのはまず
0:10:58	耐震在庫という部分はもちろん、強度評価という部分で、しっかり進めていかなきゃいけない認識があるんですけども、外傷の竜巻をまず
0:11:08	が、
0:11:11	竜巻のですね、説明をしていきたい。これは、ごめんね、生徒のハセガワですけども、
0:11:20	大事だから説明したりとかは、それは全然体系的にやっていない。
0:11:25	はい。
0:11:27	だから、順番的に説明ができないかもしれない。
0:11:31	要するに、こういうだ、現場で説明すると、会計、
0:11:36	すべてを網羅した形。
0:11:39	という、
0:11:41	運営。
0:11:43	はい。
0:11:44	そうすると必然的に、ある品物が説明する対象が、決められる、決まってくるっていうそういうことに、
0:11:54	なるほど。
0:11:55	はい。
0:11:57	だから、今は単なる希望であって、はい。登山の根拠もないから。はい。
0:12:03	そういう説明は、今後しない。わかりました。
0:12:10	すいません、資料を捨てろと言われてしまうんですがちょっと私の方ですから、そこで1011ページの資料1のちょっと10ページの、
0:12:18	はい。



0:12:20	11 ページだけだったり、
0:12:22	11 ページ、11 ページだけ 11 ページだけでちょっとお話を
0:12:28	とですね今回の新規制基準でいくと、追加要求であったり、要求事項の変更を伴っている条文と、
0:12:37	あと、真木委員から要求事項が変わっていない部分があるというふうに認識してございます。で、要求事項が追加になったり変更になった条文に対しては、
0:12:48	それに適合させるために、設備を新設したり、また改造したりといったようなことが、
0:12:57	副産物として達成し、
0:12:59	ですので、まずそういう設備を既認可から変えている部分、ここをここに、これに変えることになった原因となる条文たちを、
0:13:10	しっかり説明していきたいというのが、まず大きな説明の流れだと。
0:13:18	で、
0:13:18	違う。はい。
0:13:25	きっと世界ですけど、
0:13:36	すべて結局必要な説明は、いずれかの時点でされるわけだから、何か先にしたいとか、だから重要だから時間がかかりそうだからしたいっていうのは、
0:13:48	1 個理由はあるかもしれないけど、それは順番として適切なのかどうかも含めて考えないといけないから、
0:13:58	だから、必然的にはまる。
0:14:03	もう少しある通りだと思ってまして、各条文ごとに我々が説明をしなければならないというのを、全部洗い出して、その中で、各条文ごとに、
0:14:14	これとこれは同じタイミングで説明できますよね。
0:14:18	いうものが出てきます。そういったものは同じタイミングである。で、各条文ごとに、
0:14:25	これは先に決めないと次の説明ができないといったところは、当然そこはそこにパズルがはまってくると思いますので、それをある意味全条文マトリクスを作るのができるかどうか分かりませんが、
0:14:36	説明したい項目とそのルート、数合わせみたいなイメージかな。
0:14:42	でもそれは全部今できてないでしょ。はい。

0:14:44	そしたらできてないからね。だから最初の入口はどうするんですかっていうところが、少なくとも最初に、
0:14:53	いうところですよ。だからさっき言ったコサクが言ったように第1回目だから、申請の概要、要するに申請はこうなってますとか、いろんな当たり前のこと、もうすでに説明がされてるかもしれないけど、
0:15:07	連敗は、
0:15:09	少なくとも四つ申請して、これこれこういう内容が入ってますとか、なんかそういうっていうのがあるわけでしょ、いわゆる申請の概要的な。
0:15:20	これがあるんじゃないの。
0:15:22	ね。で、当然、多岐にわたってるわけだよね。全体だね、多岐にわたっているから。
0:15:31	なんだけど、
0:15:33	説明の、
0:15:34	四方パターンっていうのは一緒なんだよね。
0:15:38	それがだから、1回1枚目の、
0:15:40	前回の審査会合で説明した、
0:15:44	ところっていうのは変わらない。ただその内容がね、濃かったり薄かったりしてるだけなんですよ。
0:15:52	違います。
0:15:59	だけですな。
0:16:01	でも、説明の、
0:16:03	パターンというのは実は一緒なんですっていうのが前回の説明。
0:16:07	だったんですよ。
0:16:10	その説明っていうのはどういう話だったかっていうと、
0:16:15	まず、皆さん、情報ごとに説明をしていきたいと。
0:16:23	そういう方針があったんじゃないかと。
0:16:29	そうするとその条文ごとに、
0:16:32	対して、対象となる。
0:16:37	設備になりたりのリストはこうなりますっていう。
0:16:43	ものがあって、要は申請、いわゆる申請対象設備と言われるものと、
0:16:49	条文の、
0:16:52	関係ができるけどそれはJISA等、基本的には1回目の添付書類でされているんだけど、そいつをこの間言った4分割なり、

0:17:05	別残高ですとかって言ってくるわけだよね。はい。そこんところに今度は細分化するとか、うん。そそういうふうに流れていくんじゃないの。はい。
0:17:17	おっしゃる通りで、実作業としてはそういう活動をしてきておりますので。はい。
0:17:23	だからそういう、
0:17:25	ことで、
0:17:26	そういう流れでやっていくってことなんじゃないの。
0:17:32	当たり前の日等を、
0:17:34	やってもらうんじゃないか。
0:17:37	で、
0:17:40	例えば仮に、耐震設計の南條の部分については、これ仕分けはもう、
0:17:49	まず説明さしてもらって、
0:17:52	そうするとね、まだいっぱいあるんだけど、
0:17:56	それらの前提となるのは、やっぱり入力地震と、
0:18:00	決めないといけないから、まずは、
0:18:07	第2ステップだよね。
0:18:09	すべてに、これは共通しているんです。
0:18:12	ということで、
0:18:16	欲しいんだとか。
0:18:18	とか、関係とか、そういうものを、
0:18:21	まず入力地震動の、
0:18:23	に関しては、ここまでをまず最初にやりたいとか、そのあとはわかんないよね。
0:18:30	でしょ。まだ。
0:18:34	ただそこに共通的なことがあるから、そうやってやりたいっていう。
0:18:43	はい。
0:18:48	雰囲気なり竜巻とか、
0:18:59	どっかの資料もグループ三つに分けてという、第1回の
0:19:07	アンケート。
0:19:09	したい。
0:19:10	いうような、
0:19:11	グループさんの方は、濃縮じゃなくて、

0:19:16	ていうふうなことを言われて、
0:19:19	ましたけど、
0:19:21	学んで今、管理課からは、地震関係で話をしましたが、別の並行してってのは別に構わないですけど、
0:19:30	そもそも3グループって、
0:19:32	僕らの先生が3グループだったからそう言ってるようにしか思えなくて、
0:19:37	ほんとにさんで並行ってということで、合理的にいくと思いますか。
0:19:43	いうことが全くわからない。
0:19:45	結局は、材料構造はCであって、
0:19:48	重大事故等対象だけでクローズするような話ってほとんどないんですよ。
0:19:55	逆に、重大事故と対象はDBに依存し、設計思想を依存していったりするんで、
0:20:01	そチラーのヒアリングをしっかりしていないと。
0:20:05	重大事故等対象設備ができない。
0:20:09	とすると、どういうふうに組むのがいいのか。
0:20:12	いうことを考えていた。
0:20:14	で、
0:20:16	いずれにしても
0:20:19	回収は、
0:20:20	どれにもない、ということで、かつ、今、管理課が言ったように、地震動を特定していくと。
0:20:27	安定していくという関係においては、
0:20:30	かなり走れる。
0:20:32	安心になるということなんで、そういうことから、こういうふうに走らせませんか。
0:20:39	いうふうに言っていたらいいのかな。
0:20:41	所所センサスを、
0:20:43	得るっていうことがまず、
0:20:47	スタートだから、はい。
0:20:50	で、

0:20:52	あんまり詰め込んでも、そんだけ申請してこれ、この間まで、1回目の申請の話やってて、急にはなかなかさ、立ち上がれないだろうから、
0:21:03	多分、徐々にやって年度内ぐらいに、
0:21:07	全体がうまくはまっていくように、段取りが、
0:21:13	全員が見えれば、まずはもう走らせていきたいとかって、それは、これこれこういうことだから、独立して、この通りできるんですよとかっていう、
0:21:23	こうやったらいいんじゃない。
0:21:28	そこを精査する。だからそれが審査会合で、何とか一定の相互理解を得る。
0:21:36	そして、具体的な話。
0:21:40	そうなんない。
0:21:42	瀬川さんねはい。
0:21:45	そういうのを考えてきて、
0:21:48	すってないですけども一応映った資料がたくさんあって、また回数が多いよね。
0:21:58	だからそれは薄っぺらってないんだよね。
0:22:02	薄っぺらって何をするって書いて資料つけなくてもいい。はい。あとそこに、
0:22:09	適切な根拠なり、そういうことが、
0:22:12	説明できれば、
0:22:16	もともとだからさ、だからそんなにさ、やっぱりさ、
0:22:20	花Cではない。
0:22:26	これが元の出雲。
0:22:28	マイナスになってくるところなんじゃないの。何でもかんでもいきなりいろんな説明をしたりしたいって言って、
0:22:35	準備もできてない。
0:22:38	順番にさ、
0:22:41	ここまではいいよねっていうのはそれが1回目、2回、前回ね、審査会合で整理した。
0:22:47	ステップごとに行くってことなんじゃない。
0:22:53	当たり前のことを当たり前のように、な順番で進めていくんですっていうことを、まずはちゃんと説明してもらいたいんですね。

0:23:07	はい。
0:23:09	おっしゃる通り、1月の会合は、おっしゃる通り、
0:23:13	概要申請他とですね。
0:23:15	説明の順番であるとか、網羅的に2万5000の時期をちゃんと漏れなくできる方法として、
0:23:22	網羅的にできるかつ合理的でできるためにはこの順番だとか、オプションという形を大きな括りの話をさせていただいて、例えば、地盤や地盤都丸耐震話であれば、おっしゃるように、その入力地震動のところ、ここはもう、
0:23:36	蓋をさせないと、ここで使ってる人あるべきかということで、
0:23:40	積み上げさせただけで他のところは、
0:23:44	それを踏まえると、一緒にできるものとかそういう仕分けを、の説明をして、例えば逆に店であると一緒にできますねぐらいのところで、まだ十分だった話でありまして、1月の
0:23:56	できるところから始めるという宣言をさせていただいて2月に、その全体像、もしくは単社全体像を見せるぐらいの、の10%にしていかないと、我々ちょっとすいません、さっきもあって、
0:24:07	すべての、まあイメージだけですけども、見せて、何かこう、すべてのテックまで書いて、
0:24:14	やって非決まってるんで面白い通り
0:24:18	合意形成というのは、1月は審査概要と説明の順番。
0:24:23	網羅的に抜けなくて、するための順番が合理的できる順番というのが
0:24:30	合意形成というのが一番大事だと規制庁の瀬川です。だからその説明の順番っていうのも、すべての説明の順番が説明できなくても、我々はいいと思って、
0:24:40	まずは、スタートを切れるところが、
0:24:45	は保険を切りたい。
0:24:47	こういうところの説明からしていきたいと。
0:24:50	それが合理的にできる理由を言ってもらえれば、その他は順次で、
0:25:04	ですけどあと今、条文ごとっていう話を、
0:25:08	ありましたけど、一方で、決得さんから薬品被水みたいなこと。
0:25:16	条文の関連性があって、特に耐震は火災も含めてですけど、
0:25:23	それぞれ耐震化というものがあるんで、

0:25:27	それを特定をして、耐震に持っていけないと、耐震が合理的に、
0:25:35	どれも、どういう評価をしなきゃいけないかっていう、母集団が固まらない。
0:25:40	なので、そこわあ、早くやりたいんじゃないのかなと思ったんですけど。
0:25:45	そういうことは考えてんですよ。お金がもう火災溢水 S A、すべて耐震のところに、
0:25:50	集約されてきますので、耐震の入力地震動が決まるころには、その前段階になります。誰が対象であるとか、何をしなきゃいけない、火災で溢水で S E
0:26:01	理由が決まってるんです。これ繋がりませんので、それはしない。
0:26:06	ですよ。それであれば、並行してそういうところの、
0:26:10	プロセスは進めたい。うん。
0:26:13	いうこと。
0:26:14	あるはずなんだと思います。そうすると、
0:26:20	この機器特定をするためには、それまでの設計方針、
0:26:25	なり、
0:26:27	クライテリア、
0:26:28	いったところの説明がないと、そこに辿りつかない、多分、どれを取っても、具体的に
0:26:35	前回の資料の、
0:26:37	米の話なんですね、そこがね。
0:26:40	で、すべてに共通して最初からできると。
0:26:45	は、まず申請対象設備を区分が、
0:26:50	条文ごとに四つに区分するだけ、物五つに区分する、この区分ができるんで、
0:26:56	そしてその次のステップの方針だとか許可との関係とか、技術基準との関係っていうの、要は整備、
0:27:07	いうのは、何を説明しなきゃいけないっていう、そういうところで、この整理って全部できるので、
0:27:15	すべて共通して、実はできるんですね。それと、多少ね、改造工事をこういうふうにしましたとかっていう概要的な部分までっていうのは、できるし、改装ありませんでしたら、

0:27:30	説明しときゃいいし、
0:27:33	イメージで、
0:27:34	構造、書いてますとか補強してます。
0:27:37	新規で雇用を作ってますっていうその倍ぐらいまでは、
0:27:44	可能なんで、ちょっととってもね、はい。切り取って、
0:27:47	ただしその部位入っていくと、他との関係が出てくるから、
0:27:52	その団体になってくる。
0:27:56	いろんな、
0:27:57	この辺は話が終わってないと。
0:28:00	という感じで多分それはもうちょっと先の、
0:28:06	は、
0:28:08	整理する。
0:28:10	ていうことを、
0:28:13	補足です。今
0:28:16	言われたのはこれまでの資料の関係でいうと今日の資料1、4ページに、
0:28:23	はい。
0:28:24	プロセスフローで、
0:28:28	申請対象設備があり、1ポツ設計上できない。はい。それを踏まえて、
0:28:35	国籍します。
0:28:37	いうところこれで改造というのも返されてないということなのでここまではできるよねと。
0:28:43	持ってきて、修正してるのができてますね。
0:28:46	いうことであって、であれば、第1回の本会合の場で、
0:28:53	主としてこういうものがありますと。
0:28:56	いうことを示すのは、
0:28:58	入口としてできるとか、
0:29:00	それによって、
0:29:02	登場人物がこういうものだから、
0:29:04	こういう説明が必要なんだよね。
0:29:07	我々もこういうことをしていかなきゃいけないねと。
0:29:09	いう話になってじゃあ開示下位の介護、
0:29:13	次の会合でましょう。



0:29:15	そこら辺が整理できたらこういうところを聞きましょうっていうふうに繋がってくるんじゃないかと思う。
0:29:20	でも、ある種、申請の概要って言ったところが多分そこに当たるっていう、
0:29:25	そういうことでもあるんですけども。
0:29:46	で、まず、
0:29:49	網羅的に取りこぼしなくやるっていうのは、一つ一つ、当たり前の手順、
0:29:58	そうですねがたい。
0:30:03	の話や。
0:30:13	乳井西原です。もう、
0:30:15	第2編としては、先ほどの4ページのやつが基本形ベースだと思ってます。それを各条文ちゃんと並べて、正しい順番でそれぞれちゃんとやるんだと、プラス、
0:30:25	1回の申請出した、資料とかあとMOXであったり、第1回の対象常設購入で、すでに確認が終わってるものってのが一体何なのか。
0:30:35	どっから始めなきゃいけないのかっていうのを、まず条文ごとに明確にするっていうのが必要なのかなというのが、そのあとの、
0:30:43	6ページとか以降のそれぞれの条文ごとのペーパーでやりたかった目的ではあるんですけど、中身の書き方が不安だったので、もうちょっと情報が、感コンパクトでかつわかりやすいキーワードが入ってないと意味がない気はしますが、はい。
0:30:59	コサクですけど、だから、6ページは、プアというか、いらないことが多い。はい。
0:31:06	基本設計方針をまとめたりする、或いは説明内容をまとめるとかっていう
0:31:12	00 資料、別紙1 別紙4等で用いて積み上げたの。
0:31:17	説明する必要ないんですよ当たり前のことであって、
0:31:20	その結果として何が説明しなきゃいけないことになってるんですかっていうアウトプットをかけて、
0:31:26	その作業プロセスが必要ない。
0:31:29	そうすると結局、地震動を特定するってことにしかならなくて、
0:31:34	その上で、

0:31:35	それで北床ごとなりなんなり、
0:31:40	に分類してやってきますよというその分類をどういうふうにしてますか、その結果、費用をどうしてますかってのは説明が必要です。
0:31:48	で当てはめますと 3 三つぐらいポンと書けばいいだけです。
0:31:55	で、一番最初はどう、
0:31:57	できます。はい。で、しかも第 1 回の経験があって、それを踏まえての展開なので、そまさいがあれば最後なんですけど、
0:32:08	前回のをどういうふうにしてきましたって説明されると、
0:32:12	いうことだと思いますし、二つ目の累計なり何なり、
0:32:17	ここで言えば、先ほどの火災、
0:32:20	きつい、
0:32:21	或いは重大なんでしょう。
0:32:24	いったところの、プラスアルファ考えなきゃいけない。
0:32:29	他の条文との対応っていうのを踏まえて、全体としてこういうふうに、
0:32:34	まとめてくださいということに、
0:32:37	はい。
0:32:39	それができれば、結果の方、
0:32:41	落とし込まないだけなんで、
0:32:43	適用及び、
0:32:52	それと、多分一番厄介で、
0:32:56	言わない要素があるんで、
0:32:59	なんですけど。
0:33:01	いろいろな要素はあるけど、要素型もう決まっていなくて、それを担当、明示して書いていただいて、ご説明していきますと、
0:33:10	言われればいいだけ。
0:33:12	だと思うんですが、
0:33:14	一方で、第 1 回のときからお話してますけど、飛来物防護ネットが同じ名前で同じように設置しているように見えて全然違うように、
0:33:27	3 者 3 様ん。
0:33:29	はい。
0:33:30	のところをどう説明するんだ。
0:33:33	いうところが結局論点になってしまう。
0:33:37	じゃあ木場区の方も何かよくわかんないですけど、はい。

0:33:41	こちら辺をいつどういうふうの説明するとか、
0:33:50	また積む聞い特化したお話になってしまいますが資料2の、
0:33:54	3ページに、一応その思いを、
0:33:58	表現したつもりでした。3ページの一番最初ですね、設備概要をまず説明しなきゃいけないだろうという認識を持っております。
0:34:07	その中で、今、新設する、防護ネットとか防護版、こういったものの構造をですね、今回申請した設備の構造ですとか、構造計画そういったものを用いてですね、
0:34:19	並べながら、どういう差異があるんだと。
0:34:22	なぜそういう差異が生じてるんだと、いうようなところの、また構造の説明を、竜巻はしていかなきゃまずしなきゃいけないかなというふうに思う。
0:34:33	そうです。
0:34:37	やはりある。
0:34:39	入口の申請してる設備が何なんだと、だから、はい。
0:34:45	それ間違いないと思うんですけど、サガワって別にね設計だから、設計ですね。
0:34:52	でもその差を説明することによって、何か、そのあとの説明上、
0:34:59	いただくのかどうか。
0:35:00	働かない。
0:35:03	目線、
0:35:05	類型化とか、
0:35:07	代表っていう、
0:35:11	関係してくると思うんだけど、
0:35:15	借金という意味があるって意味がないのに差を説明する必要はない。
0:35:20	そういう
0:35:22	考え。
0:35:27	これは網羅的にやるっていう意味であって、
0:35:32	さっき言った事務局地震動の策定っていうのは同じやり方でこんだけやるのだから、同じなんですね、同じことであることの説明が要るわけよ。
0:35:49	一応
0:35:50	私の理解だとされる。

0:35:52	議会棟竜巻も、第 1 回にもうすでに飛来物防護ネットは申請認可を受けて、
0:35:58	それと同じもの、同じ評価。
0:36:02	のものがあって、
0:36:05	ただ、若干違うところがあるので同じでいい、同じ評価でいいのか。
0:36:10	いうところをちゃんと説明しないといけないから、
0:36:13	その意味で構造の違いをちゃんと説明した上で、評価入りますよと。はい。
0:36:19	いうことを、
0:36:21	行ってもらんじゃないかなっていう目的なんです。
0:36:24	的がちょっと違ってるので、差を説明するのが目的ではない。はい。
0:36:30	この 1 回目でやった申請の説明の流れが、
0:36:35	使えることの説明なんで、
0:36:38	使えないんだったら、そんな説明いらないし、違うんですと言うのはいいだけじゃない。はい。
0:36:44	わかる。
0:36:46	はい。
0:36:47	そこはだから取り違えてしまうと、いつまでたっても結論や、
0:36:54	できない、要するに目的が違っちゃってるから、
0:36:57	目的にみあった説明にならない。
0:37:01	だから、実が取れない。
0:37:12	5 万年です。
0:37:17	先ほど話があったところであると思うんですけど、おっきく 30 ぐらいに覚えていて、それぞれが違うと聞いているんですけど、
0:37:27	下降があって、板橋アクセント 8 やってて、イベントのあり方に関しては河辺のやつがあってっていう形でやって、パークだと多分同じだ。
0:37:37	だから、始めますよっていう話の中で、ただ、それぞれの構成は、それぞれに合わせた形の話で、それがベースで、プラス、多分株の話されたのは、村瀬 9 番があって仲田柳井竹川よくわかんないところの考え方はすべて吸収ケースは、
0:37:55	この部分を合わせて説明して、
0:37:58	それから最後は個別で説明しなきゃいけないだろうがついてくるっていう

0:38:02	かなと思っていたんですよね。板の話があって、三つの一緒に、圧力話し合って、1回目やっていただけ合わなくて、それがでっかくなったようにたくさんあった新居なんかは木場杉浦先生っていうのがあったりするけど、
0:38:15	結局はそういう風に昔の個別の話ってあるけど、1丁前も同じ流れにいるって思ってちょっと今回細かな話じゃないかよくわかんない地震を見てもらって、説明してもらいたいと思うんですけど、そういった形でやるから、
0:38:26	説明が統一的にできたらこの部分終わってて、特殊な部分っていうのは個別性もちょっと気になってっていう流れがあるかと思ったんですよ。で、
0:38:37	さらに長くやるいうと、基本的な流れがあって、引き出して言うと、セガワ増えたからって、想定する事象が変わるわけでも何でもないんだから今まで大きなこう変わってなくて、
0:38:50	防護対策の話とか屋外設備ですっぽりなきゃいけない配管とかはあるかもしれないけど、別にもうながら全部できてははずなんで今度は、
0:38:59	浜中染谷池戸っていう気がしてるので、何か何かしなきゃいけないのかっていうのを司法もらないと、
0:39:06	しますよっていうだけが気がしました。
0:39:12	適応じゃ。
0:39:16	やってないから、
0:39:18	現場で何かよくわかんない。
0:39:22	渡瀬。
0:39:24	達成できるような説明をすれば、もうその目的曖昧なんだよ。
0:39:31	そうだね。だから、あと同じしたいわけでしょ。
0:39:36	同じなんでしょう。やってることだからね、やってることは同じですっていう説明が、そのの、
0:39:43	このコンセンサスというかね、我々に対する説明が必要なんでしょう。
0:39:54	だからそれを類型化という類型できるんです。
0:39:58	類型ができることによって、説明が一緒になったから、
0:40:03	もうね、説明が変わっていいかと。当然計算モデル、今違うけどやることの流れはみんな一緒だから、
0:40:14	代表を、

0:40:16	すれば、
0:40:17	基本的な流れはね。
0:40:20	そういうことをやりたいんじゃない。
0:40:24	そういう説明になってなくて、自活だけが多くて、
0:40:27	いろんな、
0:40:29	情報が入ってなくて不必要な情報がいっぱい入ってる資料作っちゃうから、
0:40:34	訳わからない。毎回、
0:40:42	毎回なんだけど、目的が明確でないんで、
0:40:48	おっしゃるとそれではもう 1 月の会合、2 月の会議、
0:40:53	前回やお約束したやつを作るんだよ。
0:40:56	場所として、
0:40:58	だけの、
0:40:59	介護してるの。
0:41:01	やはり、目的、1 月は概要と説明順番、網羅的できるといったところで、法目的じゃないでしょう。
0:41:12	それ説明で、何でそれやるんだよ。
0:41:16	なんですね。
0:41:20	合理的な説明をするためには違う。
0:41:23	多分、
0:41:24	もっとロックアップのみを通る。
0:41:26	具体的なことから説明したいっていう。
0:41:29	それでいいですかっていう部分なんじゃないの。
0:41:33	例えばまずはね。地盤モデル、入力地震動のね、頭からですね、具体的な説明をスタートしたいんです。
0:41:47	最後に、
0:41:49	1 月 20、
0:41:50	3 日に会合があると整理しますよね。そうすると、24 日以降、じゃあね、会合で本当に行けるかお互いコンセンサスがえられてるから、具体的な説明を伺いましょうかっていう。
0:42:02	1 月 24 日から何やります。
0:42:05	何を説明したいのっていうところがね、その前の対応と、
0:42:11	少なくともね、今ないんだからさ。

0:42:16	ただ全体の概要説明が当然ね。それで 24 日から具体的な、
0:42:22	個別の説明をしたい。
0:42:26	何かあるわけでしょ。
0:42:27	そこの目的を達成するために、
0:42:31	本設備、
0:42:32	富岡からこれを説明することは合理性があるんですよっていう説明をするにある。
0:42:42	24 日。
0:42:45	個別に何かいっぱいいる人たちは何説明した。
0:42:49	その説明の手順があるわけですね。
0:42:57	そういう意味では、
0:42:59	最後は、
0:43:01	審査会合でコンセンサスを経て、次につなげたいものは何だ。
0:43:07	ということだね。
0:43:12	をまず明確にしておかないと。
0:43:16	いけないんじゃない。
0:43:18	大きな話としてはね。
0:43:30	これ、ちょっと別な樁が釧路だけ。
0:43:38	我々にとっても、早くしない。先ほどのその耐震、
0:43:42	登場人物を確定する
0:43:44	ところが、
0:43:47	山田までね。
0:43:50	そうです。
0:43:54	運転中と竜巻が一番ページ、
0:43:57	するのに安いでしょ。あったからいいましたが、じゃあ他の事象については、そういうのないことあるよね。
0:44:06	うん。
0:44:07	いうのは、拾い上げない。
0:44:11	検討漏れになっちゃうので、だから、石野阿部くださいと私申し上げ、
0:44:16	C E Oとして同じ述べた上であれじゃなくて、
0:44:20	考えた上で、これをやる先にですね。
0:44:23	いうために、それを合理性を説明するためには、意識こういうことを見ましたということを書いてもらわないといけない。

0:44:30	数字の話。
0:44:32	それで何食べていくと。
0:44:34	こういうことをやっていけば、
0:44:36	登場人物が取り上げたり、耐震評価と、
0:44:41	いきますね。
0:44:45	いうことになる。
0:44:54	そういう意味では、溢水なんかも、
0:44:57	はい。
0:45:00	引き継いでここでセットします。はい。
0:45:03	いうことで言わないと。はい。
0:45:06	繋がっていきません。
0:45:15	付、
0:45:22	実はだからそこで、ある程度、
0:45:26	だんだん減ってくるんだけど、
0:45:33	要するに共通要因。
0:45:36	ね。
0:45:43	あのさ、さらに、ご指摘に言うと、重大事故は 1.2 S s があったり、或いは
0:45:51	アクセスルートなんかも含めて波及影響防止、
0:45:54	関係で、周辺機器まで含めた防護設計を繋ぎ、
0:46:01	それをどこもやらないと。
0:46:07	こうだからその説明を起こす。
0:46:24	ハセガワです。
0:46:26	そこで毎回つまずく。
0:46:30	今回考慮して、
0:46:32	説明の順番というか、
0:46:36	それを何かね。
0:46:38	上げさしてくださいっていう資料山積みにしても、
0:46:44	どっかで整理されるのかもしれない。
0:46:47	あんまり、
0:46:48	こんだけ物量が多いやつで、
0:46:50	この体験しないと、この間、1 個だったからどっかにあってもいいということは、



0:46:58	だけなんです。
0:47:07	希望じゃない。
0:47:08	希望でしょうがない。
0:47:12	もうおっしゃる通りもうすべて対応体制のところに、今日、
0:47:16	それは良いんだからさ。
0:47:20	それをまた勘違いしちゃってよくないよ。
0:47:25	だから耐震は外に建てても中に立っていても、どこに行っても体検査範囲しちゃうけど、龍野聞みたいなね、竜巻が適切だなんだっていうのは、
0:47:35	外にやつしかさね、払ってこないとかね。そういうの違いだから、
0:47:45	外部衝撃系っていうのはさ、割と絡みが多い。
0:47:49	でも一方ですか。
0:47:52	水だとか、その辺は、何らかの基金に対しての絡みが多い。
0:48:02	そういうことを考え、
0:48:13	すみません、案を言って、資料見てとてつもなく不安なのが、
0:48:18	物心基準適合の許可を踏まえた申請と思われるかもしれない。
0:48:24	現行許可、
0:48:26	に基づくし、
0:48:28	グループが進めてます。
0:48:33	覚えてますって書いてないです。すいません。はい。はい。書いてないと。
0:48:44	第1回のときに、
0:48:45	かなり電話をした、無理なんですけど、
0:48:48	相変わらず資料から、
0:48:53	その点妥当、廃棄物管理の方もだからこそ共用の話があって、はい。
0:48:58	ということで、
0:49:01	廃棄物管理は、どっかにちょろっとだけ書いてありましたけど、
0:49:09	そもそも何ていうんすかね。同じもん、同じ評価でいいんだ、構造が同じだからみたいなことを、
0:49:16	最初に言っとかないと、結局類型としては待ってからいいわけです。
0:49:21	後になってから差分5とかっていうことはおかしいので、
0:49:25	その点でもう申請概要で最初に言ってしまえば、
0:49:32	保管体貯蔵、最初にあってそれと同じだし。

0:49:36	そうは言わず他でも一緒ですということであります。
0:49:41	いうところで、
0:49:42	いえるところもあるし、共用に関しては共用としての、
0:49:47	新生代、
0:49:50	それ、
0:49:51	言ってた資料の 49 ページには、
0:49:54	その他変更の話書いても、
0:49:57	これも部分的な感じがしているんで、今、自動ガスですし、
0:50:02	あと M O X 供用は後から申請すればいいと思っているから抜けてるんだと思いますけど。
0:50:09	とは言っても、それはその接続のところから、
0:50:13	ご理解、
0:50:16	竣工後の話だけではなくて、
0:50:19	他の共用部分っていうのは、今回の申請に入ってる。
0:50:24	ていうのは説明が必要なんだから、その点は入れておかないと。
0:50:29	漏れるんじゃない。
0:50:32	違う。
0:50:45	今回の申請に対して、
0:50:49	はい。
0:50:50	うん。
0:50:54	なので、おっしゃっていただいてさ、その他変更ところは、3 件しか今書いてませんけど、過去事業変更許可の時にも、ヒアリングで 30 件ぐらいの項目出して、
0:51:04	安全審査では関係ないけど設工認でやらなきゃいけないよねみたいな会話をしてたのもあるので、そういうのをちゃんと抜けなく、
0:51:11	ピックアップして、そこの中に入れて整理をしようと思う。
0:51:17	はい。
0:51:18	あと説明漏れのないようにっていうか、補足です。説明漏れのないようにっていう関係で言うと、その他変更については、
0:51:28	こういう内容なのでこういう条文の対応があって説明しますというふうになってますけど、
0:51:37	ある条文で、改造なり設置をすることになるというものがその条文の審査。

0:51:43	生だけではなくて、関連条文全部説明しなきゃいけないと。はい。
0:51:47	いうところが、
0:51:49	ある。
0:51:50	はずですし、或いはその方針変わってなくても今言ったように、
0:51:55	もらって、それ、それに対する条文の説明をどうしていくんですかっていうのを、この資料で漏れて、はい。
0:52:05	それも、わざわざ個別に説明する必要ないから、
0:52:09	新基準適合で説明してるところに入れてあるものは入れちゃうんでしょうし、
0:52:14	そうでないものはどういうふうに行くかということで、
0:52:18	あそこを東条全部ちゃんと上げておいて、はい。どう説明するか資料。
0:52:31	そうですおっしゃった 49 ページ※米しれっと書いてあるのが、S A の関係でBの改造したやつっていう項目だけ書いてますけど、本当にそれだけかってのは当然ながら考えなきゃいけない。
0:52:43	他も含めて、整理をした上で、
0:52:45	対応関係を明確にして、抜けが出る予測はさせていただきます。はい。
0:52:53	はい、どうぞよろしくお願いします。管理官が言われたように、まず土俵として、今回申請こういうものがありまして、
0:53:02	こういう会合があって、だからこういう説明を受けてるっていうところまでは、今回
0:53:08	してもらわないと。
0:53:11	説明を聞くと表に、
0:53:23	あんまりめどがないんですけど、
0:53:25	ページが、そもそも何かうちらは 49 ない。
0:53:34	営業所
0:53:40	へ。
0:53:40	例えば保安電源。
0:53:42	はい。はい。
0:53:44	海保。
0:53:51	二村伊井違うみたいな感じ。
0:53:55	本日は問題ないんですけど、
0:53:57	ないときは、所管部に何審査したのかっていうところも踏まえて、

0:54:01	漏れないように、
0:54:11	完全に
0:54:12	後ろを作りながら、前を直すの忘れたという、
0:54:20	打ち合わせ。
0:54:22	多分、
0:54:27	ちなみに保安電源の関係だと 34 ページは、
0:54:32	変更事項として書いてあるけど、最後のページ、
0:54:38	最初の 3 ページ。はい。
0:54:41	今野そうですね。はい。途中で気づいて 34 ページを作って、あとみんな変更忘れたと。
0:54:48	越智です。はい。
0:55:00	開放に向けて、
0:55:13	そういうことで、はい。
0:55:17	はい。
0:55:18	資料はたくさんじゃなくて、その辺ポイントをちゃんと押さえて、シンプルで、お客さんの意識等々で補えばいい。一色付けようという。
0:55:31	全く活用私がします。いや加古石井スケールのは、
0:55:37	あった方がいい。それは、先ほど言ったように、そのまとめて説明したときの根拠として、そこまでやってだからこんな値ということになってたので参考でつけるっていう分には、はい。
0:55:49	その思想は合ってる。はい。
0:55:52	ただそれが中途半端だし、
0:55:54	前に持ってくるのが、レイズみたいになっちゃってるから、
0:55:59	よくなって、それを集約してこれとこれとこれはこういうやつにとかっていう、全体像として、全体、
0:56:10	規制庁の竹田です。衛藤第 1 部、こちらの機能が振り返り、
0:56:16	じゃ最後、よろしいですか。はい。
0:56:21	はい。日本原燃の世良です。
0:56:24	振り返りをさせていただきます。
0:56:30	そうですね。ちょっと資料に関係ないところですけども下、ヒアリングに臨むにあたっての出席者が何の目的で、参加してるんだということは今後のヒアリングにおいてきちんと冒頭、
0:56:43	ご説明させていただくようにいたし

0:56:45	続いてですね資料の中身に入っていきますけれども、
0:56:50	ですね、まず
0:56:52	結局シュシュとしては、今回申請した設備がこういった設備たちが申請されているのか、新設ものなのか改造物なのか。
0:57:02	そういったところのまず入口をきちんと
0:57:06	説明するということが、まず、介護についての入口であろうと。
0:57:11	いうふうにとらえてますので、
0:57:13	きちんと
0:57:16	もう全体見直しになりますけれども、
0:57:18	申請の概要として、申請設備の外観をきちんと述べられるような内容に、
0:57:25	再整理させていただければと思います。この整理をすることによって、その整理をさせていただいた上でさらに、その申請設備が、
0:57:35	こういった条文と紐づいているのか、これも合わせてきちんと整理をさせていただきます。
0:57:41	で、これによって、ぐ具体的にどの条文からどういうふうに聞いていけばいいのかというふうに繋がっていくという認識でございます。
0:57:51	続いて、
0:58:01	えーとですね、今回の介護の目的です。大きな目的は、
0:58:07	1月24日以降に、こういった条文のこういったポイントから説明していくというその部分を、合意を図ると、認識の認識を合わせることが、
0:58:19	一番の目的になります。ですので先ほどの申請設備の整理ですね、とあわせて、
0:58:25	全体共通的に独立して進められるような説明項目が何なのか。
0:58:33	多分、例えば入力地震動とか、そういった例えば類型化とか、そういった部分が共通的に進められるところであろうかというふうに思っておりますけれどもそういったもの、そういう説明の項目がどういうものなのかということを整理する。
0:58:47	さらにそういったものと並行して、進めていくことができるもの。
0:58:53	例えばこれも耐震で例示がありましたけど、すいません。できるじゃなくて、しなきゃいけない、しないわけですね。はい。

0:59:09	最初に説明をきちんとしていかなきゃいけない項目、それと並行して説明ができる項目。
0:59:16	こういったところをきちんと分析して、整理をさせていただきたいと思います。
0:59:28	は、
0:59:29	これは資料直接というわけではないですけども、S Aとかに関しては耐震という絡みに含めてですね、波及影響防止だとかアクセスルートに対しての、
0:59:40	どういう方針で登るんだと、こういったところの整理が必要ですし、
0:59:44	あと申請概要としてまとめなきゃいけないところであれば、有毒ガスの共用、
0:59:50	その他の変更事項、こういったところに対して、抜け漏れがないように、キーワードをきちんと上げて、
0:59:57	全体の説明の中でどう絡まして説明していくのかといったところの方針も含めてですね。
1:00:03	表現したいと。
1:00:10	なんかちょっと資料間の整合もしっかり精査いたし、
1:00:14	長田です。不整合んというよりは
1:00:19	全体的にリフレッシュすると思うので、はい。その中で整理をしてくれればいいんですけど、今日だと、少し話題にしたのが49 ページ、50 ページとか、
1:00:32	参考の方なんですけど、本部側にやはりないと。
1:00:37	全体像を示し、
1:00:39	というところで、
1:00:41	今後、ちゃんと、
1:00:45	本体側に移設していて、何オガセ懇親、今回の申請で設置したのか。
1:00:53	それを説明する。はい。
1:00:55	いうことで、
1:01:02	タジリで、
1:01:10	来年、
1:01:15	はい。
1:01:16	絶対。
1:01:27	工事発注とか、

1:01:31	先ほど、ああいうメディアで先ほど小坂さん言っていただいたようにとはいえ、廃棄物管理施設の申請って何が入っているか、どういう設備が対象なのかっていうのを、まずちゃんと説明しておかないと最初のこいつとグループ一緒ですよみたいな。
1:01:45	話にならるので、結局、自分が主に説明するよりは、再処理の説明の中に合わせて廃棄物も同じのがありますみたいなことになるような、
1:01:54	そういうそういうことが、そういう説明になるんだということの妥当性というか、合理性が持てるように説明の順番を考えたいと。
1:02:06	どこに書いてあったっけ。探したんですけど、4 ページの下側にちょっと、はい。
1:02:13	これね。
1:02:15	そうではなくて、
1:02:18	駄目で、ここに包含しますと。
1:02:22	いうようなところでちゃんと説明して、
1:02:24	いけるようにしてください。で、その点妥当、廃棄物管理だけじゃなくて、2 ページに書いてる、もろもろの申請があるので、それを一体として説明していきますと。
1:02:37	いうことなんだろうと理解して、
1:02:40	ます。その際に第 1 回申請或いはボックスの第 1 回申請。
1:02:46	行った経験は踏まえて、
1:02:49	それをなるべく活用していくんだという方針だと書いてませんけど、前に書いてあったはずなんで、はい、理解してますので、それを踏まえた
1:02:59	説明方針ということと理解して、
1:03:02	一方で、
1:03:04	手続きは手続きとして、
1:03:06	うん。
1:03:08	合ってるの。
1:03:09	もうお金が少ない。
1:03:12	立っているわけで、
1:03:14	そこ仕分け、
1:03:16	治みたいなのが、
1:03:18	申請書を見ましたけど、何かできてないような気が。

1:03:22	します。はい。そのあたりをどう詰めていくかっていうのもちょっと議論しなきゃなと思ったんですけど、第二部の話になってきてそんな気がする。大南第二部の話ってどうでしょう。続けてやればいい。
1:03:35	一旦休憩します。
1:03:37	小田島照査規制庁武田です。1 時間ほどたっておりますので一旦は
1:03:44	休憩を入れてから、再開したいと思います。
1:03:47	38 分ですので、
1:03:51	50%再開でよろしいでしょうか。
1:03:55	はい。それでは 50 分に再開いたしますのでよろしくお願いいたします。録音停止します。
0:00:01	規制庁の高です。それではヒアリングの方を再開いたします。
0:00:06	続きまして、議題の 2 ということで、
0:00:13	今後のヒアリング進め方になります。
0:00:16	それでは、今後のスペアリングの進め方について日本原燃の方から説明の方をお願いいたします。
0:00:23	はい。日本原燃の瀬川です
0:00:26	この前半に少し入り込んでいったところですが、条文ごと、何でもこの条文からやりたいんだというのは、しっかり整理をさせていただきますが、
0:00:39	その中でも主役級の条文に対してですね、どういう順番で説明をしていきたいのかを、ご説明させていただきます。
0:00:47	まず 2 ページ、地震です。
0:00:50	6 ヶ所。
0:00:52	星野さん。
0:00:54	説明できますか。
0:01:00	日本原燃星野です。地震、6 条 33 条の説明順序になりますが、
0:01:06	まず左上の方ですね、申請設備の方の説明、設備の構造概要ですとか要求機能が整理された後、他条文の方については設計方針の方に、
0:01:19	説明の、
0:01:21	をしてくる流れとしてます。その下の点線のところを、
0:01:28	下で、真ん中のところですね、ステップ 1 のところですけども、耐震の方は類型化等、説明代表の方の選定の説明を少し変更させていただいておりましたので、



0:01:39	まずステップ1としてはこの類型化等を説明対象の選定のところの説明を先にさせていただけたらなと考えております。
0:01:48	それとあわせてですね入力地震動の算定のところ、地盤モデルの設定を含めて、この説明を最初にさせていただこうと。
0:01:58	そのあとステップ2としては保身関係ですね、の説明を、第1回の新設申請内容の3について説明をしつつ、
0:02:10	関連する補足説明資料、
0:02:12	単独での補足説明内容について説明していきたいというふうに考えております。
0:02:18	以上です。
0:02:24	規制庁小峰ですけど。
0:02:26	何をどう進めたいのか全くよくわからない。
0:02:35	皆さん、
0:02:37	中で話をされてる。
0:02:39	最新の人がこういう説明されてますけど、そうやって、
0:02:43	以降、
0:02:47	日本イシハラです。少なくともはちょっと説明の、今の説明の中にどうのこうのと言えば、
0:02:55	第1回から引き続きやらなきゃいけない項目として累計の話であったり、代表選手の話、あと、説明をちゃんとしないといけない。
0:03:05	いうことがあるっていうのは、認識をした上でそれをまずちゃんとやろうかなというところは、認識を合わせていた
0:03:13	トレーを、
0:03:15	やっておかないと後そのあとの全体の耐震評価結果を示した時の説明をどういうふうにするかっていうのにも効くかなと思って、そこが一番ところあたりやらせていただければなというところは、
0:03:27	話していました。そのあとの、ちょっといっぱい出てくるこの説明をどういう順番でやるべきなのかっていうのは、全然整理されてないのはすいませんちょっと中での議論がうまくかみ合っていなかったかもしれません。
0:03:40	規制庁小出です。累計の話と言われましたけど、
0:03:45	建物と機器があります。機器も手計算とF E Mぐらいなんですみたいな話は、

0:03:52	もう終わってると思っていて、はい。
0:03:56	じゃあ何話するんですかって感じがするんですけど。
0:04:03	日本原電、大城です。類型の考え方のところについてはおっしゃっていただいた通り、第1回の方で、どんどん説明できてるかなと考えております。
0:04:17	新規で07の方で類型化を類型化した後の大説明代表設備の選定のところですね、ここの説明する内容についての、
0:04:29	中身の説明は
0:04:32	できていない状況ですので、そのところから説明をさせていただければなというふうに考えております。
0:04:41	成長カミデ説明代表設備の中身の説明。
0:04:46	まず説明代表設備ってのは何でした。
0:04:56	日本原燃星野です。
0:05:00	1 審の耐震評価対象の設備。
0:05:05	に対して、設計プロセスから類型化した後に設計プロセスを踏まえて、
0:05:14	設計プロセスが多く合致するもの、当補足説明事項が伺ってするもの、
0:05:22	認可からの変更点に該当するものの中から、説明する代表設備を選定するという
0:05:31	考えております。以上です。
0:05:35	すいません、補足ですけど、
0:05:37	ごめんなさいそれはもう説明し終わってるんじゃないかなったんですよ。
0:05:43	で、何を説明が必要だっていうこと。
0:05:50	運用保証です委員会申請設備で、具体的にどんな設備を説明代表として選定したというところのご説明を、
0:06:00	提示したいと考えております。
0:06:03	補足ですけどそれ別に説明というか資料提出が済むだけの話じゃないんですか。
0:06:14	日本原燃星野です。
0:06:16	いえ。はい
0:06:18	資料を提示すれば、
0:06:21	のかなとは思います。はい。
0:06:25	規制庁カミデですけど、累計カー。
0:06:30	この話を、

0:06:32	仮に早めにしたいのであれば、
0:06:35	その設計プロセスってということですね、計算。
0:06:39	町の作成方針、計算方針。
0:06:42	のところが、
0:06:44	枝葉も含めて網羅的にまずかけてるかっていうところをちゃんと説明する必要がある。
0:06:52	います。で、
0:06:54	やるんだったら、
0:06:56	そこからじゃないのっていう気はしますけど。
0:06:59	その場合の、
0:07:01	補足説明資料耐震記念ってどんなのではなくて、00 何。
0:07:08	D、
0:07:10	なので、
0:07:11	00 をまずはなめるっていう、
0:07:15	なめても結局差分があるところって生ぐらいなもので、
0:07:20	主に論点となるのはその計算書の作成方針。
0:07:26	これがどうやって、まずは皆さんが、
0:07:29	江田はどうやってちゃんと探しました。
0:07:32	説明を聞きたい。
0:07:36	まあそんなところじゃないかなと思ってますけど、もしあるとしたら、
0:07:41	思うんです。
0:07:46	補足です。今、カミデD君が言ったので、代表設備選定でマトリックスカップの横時空。
0:07:56	2、どういう、或いは横軸なりあまりこの中で、枝葉的な周期なんかに入れるといったところの視点がちゃんと認識共有できてるかっていうことをやらないと最終的に整備できませんよねっていうことだと。
0:08:11	理解をしましたけど、
0:08:13	衛藤六ヶ所が理解できました。
0:08:19	日本原燃小塩です。
0:08:21	私、すいませんちょっと理解とか、身ついてなくてですね、
0:08:28	じゃあ六ヶ所側で理解が追いついて説明ができる人今だれ形かと思います。
0:08:37	第1部の最初にも始まる前にも言いましたけど、

0:08:42	東京に出てきていやヒアリングする方等 6 ヶ所、やる方で、
0:08:48	六ヶ所側でもちゃんと認識を
0:08:52	共有できて、
0:08:54	各担当と話ができる人が残ってないと、今みたいに、担当が 1 人困ってしまう。東京は何かわかったふうだけど俺はわかんねえ。でも回答しなきゃどうしようって、
0:09:04	なるのって不毛だと思って。
0:09:08	いるんだと思ったんですけど、誰かいません。
0:09:11	藤野さん誰かいらないんですか。
0:09:14	そういうイメージですか。
0:09:17	村山さんの、はい。
0:09:19	はい。兼田さんがおっしゃった通り、
0:09:22	まず最後前のシミズですよ。
0:09:26	サブも含めて、
0:09:30	第一課で示していない S A 関係、
0:09:34	その設計方針魔法周囲をきちんと整備した上で、
0:09:38	その中に入ってるかをきちんと整理したい。全体で全部全体像の、
0:09:45	なんでから、
0:09:47	そういう話だと私は作っツガネちょっと聞いてましたけど、
0:09:51	それで、うん。規制庁深見です。まずは類型化って言われたんで、
0:09:57	類型化をまずやるのであれば、どうするかっていう話を話をしてるんですけど。
0:10:03	星野さんは、代表設備のある者に対して、
0:10:09	実際品証の計画書にしたがって、ちゃんとチェックしてますよね、データの検証してますよねっていうところの、
0:10:18	補足説明資料っていうのが耐震で 26 とか 47、27、
0:10:24	素行を年末話をした都築の作業が困っているから、何かそこをやりたいって言うように私は受けとめてるんですけど。
0:10:35	全然そんな話の手間をやらなくちゃいけないと思って。
0:10:40	まずはその設計プロセスガイド版も含めて、ちゃんと落とし込まれているか、000 と別紙 4-16 ですけど、
0:10:48	そこプロセスをちゃんと並べ、そうすると対応表の横軸が上がってますね。

0:10:55	で、その次に、じゃあ、代表設備を、
0:10:59	何の目的で、まず設定するのかって、そうなったときに、具体的に何を設定しますという話があり、そのあとに、じゃあこれ、その代表に対してこういう補足がつきます。
0:11:13	関連しますという整理をした上で、最後に、比で 20 なので、そういうフローです。
0:11:21	実際にやった、品証活動っていうのを表してもらって順番だと思うので、大分手前で、
0:11:30	まだやらなきゃいけないとか、いうことだと私は認識してます。
0:11:36	はい。すいませんちょっと。
0:11:37	それは私個人的な話をちょっと年末ちょっと。
0:11:41	ユニキャンに対応してたもんで、その辺の
0:11:46	もう年末のところの話が関連がちょっとついてきて、すいません、補足です。うんと言った話では、すみません、古作です。そんな言い訳はこの場で言う必要はありませんし、ヒアリングに出るという限りにおいてはちゃんと認識を社内で共有してから、
0:12:04	対応してください。すいません。さらに、さっきの面談ヒアリング聞いてました。
0:12:13	はい。星野さん聞いてました。
0:12:17	はい。聞きました。理解してます。
0:12:23	はい、理解しているつもりです。はい。
0:12:26	それ等今の説明は合ってるように思わないんですけど。
0:12:31	合ってると思って話してます。
0:12:37	多分、新申請する設備というのがどういうものがあるんだというのが他条文から結構入ってきますんで、
0:12:48	まず登場人物の整理、これがきちんとなされないと、
0:12:53	評価項目の網羅性みたいな A だと言ってた部分がきちんと網羅されてるかもわかりませんし、
0:12:59	そういう意味でやはり何にしてもですね類型を語るためには、
0:13:04	申請書登場人物の整理から始まるんだと。
0:13:09	ことだと。
0:13:11	はい。補足です。そうすると、

0:13:14	それができてもないのに代表設備の選定状況を説明したいってありえないじゃないですか。そう思いません。
0:13:22	保証です。はい、おっしゃる通りです。すいません私が
0:13:28	先の方の、
0:13:31	第 1 号の方の内容を踏まえてこの説明をちょっとする。
0:13:37	意識がちょっと漏れてて、先ほど上出さんがおっしゃっていただいたように、年末に、
0:13:43	ちょっとやり残したことがあったのでそこをまず先にやっていきたいということの気持ちだけを少し出してしまいましたので、
0:13:51	衛藤、今、
0:13:55	認識をちょっと改めまして、この P K のところから入っていくわけにはいきませんのでまずは、値自身 00-01 で、追加した基本方針や、差分、
0:14:07	差分を生じたというか、記載を拡充したような基本方針のところからご説明をしていかなきゃいけないなということで、
0:14:14	認識をいたしました。はい。
0:14:18	規制庁亀井さん若干色をささせていただきます。村山さんいいですね。はい。いいです。スタッフ。
0:14:29	浦山さんちょっと患者さんから。
0:14:32	村山さん。
0:14:33	話し合いでしょう。もういいです。
0:14:39	いいです。はい。大丈夫。
0:14:41	わかりました。
0:14:43	はい。規制庁河合です今、変に類型化っていうところが入口が入っちゃって、今結論が全体的に何かやりましようかっていう、おっしゃったんですけども最初は、
0:14:54	全体、何から始めましょうか。
0:15:00	今条文の関係って言いましてまずさっきの話だと申請対象な何かあるんですかという話と、
0:15:07	あとは変更点がこんなものあります。はい、そうですね。
0:15:11	その辺は、当資料で言うと、耐震建物 01 だったり、
0:15:19	最終建物 13、既設工認との変更点。はい。それは

0:15:25	資料、今日の資料 3 番のスケジュールでは来週中に出てくることになってるんで、その辺最初に話聞きますよっていう、元から言っているから、そういうスケジュール。
0:15:36	で、
0:15:38	そのあたりは、
0:15:41	さっきの話もありましたが、会合に向けてという意味だと、まず入力地震のところになる。
0:15:46	その辺りの地盤モデルの資料も出るようになってますね。新宅は出てくる。
0:15:54	早めに出てくればその
0:15:56	あともう 1 個あるのが、地震 00 については、
0:16:01	さっき言ったようなその他条文との関係っていう意味だと。
0:16:05	ええ。
0:16:06	大体別紙 4 の先頭に、他条文との関係のフロー図を、今、他の条文がついてますけど、図示がついてないので、
0:16:14	それをつけて、
0:16:16	はい。
0:16:17	いうこと。
0:16:18	ね。
0:16:19	最小のうちは、まずはそんなところで、じゃないと、粒径の話は、まずないだろうということで、第 1 だったらさ、
0:16:30	まずは、
0:16:35	古作です。追加で言うと
0:16:40	多分からクルー、その評価対象機器。
0:16:45	なんかは、それがないと類型最終的にクローズしないんですけど、とは言っても、ヒアリングわーやっていかないと、
0:16:53	多分、
0:16:55	不備なりこちらから思うところで記載不足みたいな、多々あると思うので、
0:17:00	そういう話はしていったらいいと思うんです。
0:17:03	そういった観点からは現状での評価方針なり、作成、
0:17:11	経営計算方法の作成方針といったところのヒアリングは適宜進めていて、最低限、

0:17:21	不足しない、してない状態に、
0:17:24	するという作業をしていただく必要があるかな。
0:17:27	並行して
0:17:29	各条文で対象を聞き、
0:17:33	の抽出でそれに対する評価欲しい。
0:17:37	どこの連携にはまるかみたいなことかもしれませんが、
0:17:40	いうのを整理をして、合流していったところで、
0:17:46	プラスアルファの機器が、そこまでにヒアリングした評価方法でカバーできるのかどうか。
0:17:54	いうことを確認をさせて、
0:17:58	足りないものがあれば、追加で、ここにこう入れましようとかっていう話が、
0:18:03	はい。
0:18:04	ということですけど、
0:18:07	申請された前提から言えば、
0:18:10	ないんでしょうから、
0:18:12	それを踏まえて入りますねというところで、ようやく、
0:18:17	代表設備の話になる。
0:18:19	その上で、エビデンスのチェックをさせ、
0:18:23	いうところかなと。
0:18:25	思います。で、様々そんな意味。
0:18:30	とりあえず、もうちょっといっちゃうことあるんですけど、今の話では、とりあえず、
0:18:37	その上で、ちょっと心配なのは、
0:18:43	先月 I I
0:18:45	2 先月は先生に 5 日に 1 ヶ月かけて現場確認しますと言われてやってきました継続しますと、
0:18:52	言われていてですね、
0:18:55	メーカーなりがー、設計図書を作成し、
0:19:00	納品はまだしない。
0:19:03	よくわかりませんが、少なくともものは見てやってきた。
0:19:07	いうところろうですけどそれと本当に申請書合致してん。
0:19:14	いうのは、代表だけではわからんのですよ。



0:19:17	何分
0:19:19	いろんなメーカー、いろんなその担当者、
0:19:24	やっていますね。
0:19:25	それが本当にこの代表で網羅してるのっていうのはどう説明していただけるんですか。
0:19:36	日本原燃の瀬川ですけれども私が話してる古藤に対して間違いがあったら、六ヶ所から直ちに先生は言って欲しいんですが、
0:19:46	メーカーから出てくるその設計図書耐震計算書とかですね、そういったものに対してはまず
0:19:54	実施するにあたって、評価方針、
0:19:58	まさに説明、評価方針でこういうふうなこういう評価でやりなさいっていうような方針が別途定められてそれがメーカーに周知されそれに基づいてメーカーが評価をしてくれますので、
0:20:08	まずその方針通りに、ごめんなさい、後付だから、今回、
0:20:14	申請書、
0:20:16	だから心配してて、はい。
0:20:20	実際やっちゃったものを説明してるというものが、
0:20:24	他のものに式ずれて違う説明になってませんか。
0:20:27	ということなんです。
0:20:29	で、
0:20:30	普通の電力とかの担当者だったら、
0:20:35	チェックしてしなければ、評価し直しをしたりとか、
0:20:38	適時、
0:20:40	是正を図り、申請書体系となると思うんだけど、
0:20:44	残念ながら原燃の担当者、
0:20:47	そこまでできる発想を持っていないということがここ2年間で十分痛いほど感じているところで、信用できないんです。
0:20:57	なんで、
0:20:58	その辺りを信用できるようにどう説明していただけるんですか。
0:21:01	言ってる、上流図書から整理しましたと言われても全く説明になるんです。
0:21:10	所詮この1ヶ月なんてそんなことやっているわけない。やったというけどやってるわけないと思って、やれるわけじゃない。

0:21:17	私だってその数、自分で見ろと言われて、
0:21:20	自分で見切れるという自信ないです。
0:21:23	じゃ、日本が抜けてるんすけど、ちょっとスタイルでちょっと持ち帰って議論をさせてもらって、
0:21:28	奥田も、
0:21:30	の計画を作って、
0:21:32	そのままチェックシート、
0:21:34	きっちり確認をして、
0:21:37	安保蘇武です。僕らの現場でしょ。はい。私の言う現場って設計図書、
0:21:44	設計図書と現地が合っていると。
0:21:46	いや現地があったじゃなくて、一緒にですね、そんなのわかるわけないじゃないですかそれで評価が全部同じかなって。
0:21:55	設計としては全部林合わせて見なきゃいけないんですよ。
0:22:03	で代表設備って言ってるのと、自分のこの設備は、どういうエビデンスの違いがあるかとか、
0:22:10	そういうのを理解しないと僕らは全体がどういうものになってるかわかりようがないんで、
0:22:15	誰がそれを見て説明してくれるんですか、申し上げ
0:22:19	て何世代もやってないんですよ。
0:22:23	そんなん代表で説明します以上、
0:22:26	すぐ覚えますか。
0:22:32	規制庁深見ですけど、とりあえずはだからそのために大新規で27、
0:22:36	いて、まず書類上はそんなところ、基本的に扱う以上はそうだと思うって、方針があって、確認の視点で確認してください。
0:22:47	で全部これでやってますって言うんだけど、その本当にやったのかっていうところじゃ、今度はどうするかっていう段階なんで、途中までは今話してきた。
0:23:03	端的に言うと、もうその時に、
0:23:07	前課長さん。
0:23:09	はい。
0:23:10	或いは全館担当しない。
0:23:13	同席し、

0:23:15	自分のところはどうか。
0:23:17	ちゃんと正直いえるようです。
0:23:20	その時に来て調べますか。
0:23:24	僕のところはこうです。
0:23:27	自分のところ手元で開き直すとか、
0:23:31	或いは自分、きっちり記憶してあってこういうふうになってますとか、
0:23:36	それをヒアリング資料、
0:23:39	申請書、
0:23:40	その対応確認見て、代表機器と関係を見て、
0:23:45	話ができるようにしておく。
0:23:49	いうことぐらいの最低になっていただかないと、新、
0:23:59	六ヶ所わかります。
0:24:02	できないものにしてください。
0:24:05	はい、おっしゃるということはわかります。やりなさいですね。
0:24:10	きちんとエビデンス取りや確認と、
0:24:13	それが説明できるように、
0:24:15	しか言え言わないですけど、やります。
0:24:20	が、ＢＳでない。
0:24:22	怖くて説明できて、そっちはもう、
0:24:30	そこではしご外されたらもう最後を、
0:24:36	はい。コサクです。エビデンスチェックとかの実績なんかは、第１回の時には少し実物をこの場で見せていただいて、
0:24:46	ある程度そのチェックの仕方なんかも、
0:24:49	手引き的にまとめられてという様は、
0:24:52	見せてもらったので、
0:24:55	第１回の場合は、
0:24:58	対象が限定的だったので、もうそんなもの見てそうだねで終わったんですけど、
0:25:03	第２回はそういうわけにはいかないということで今こういう、
0:25:07	ということなんで、各課代表じゃないからのんびりするということではなく、
0:25:12	ちゃんと自分たちの説明にもなってる。
0:25:16	いうことをしっかりと意識して、はい。

0:25:19	よろしく。
0:25:21	能勢先生、代表が決まって、アボの説明を、
0:25:25	の時にはそれが、
0:25:27	今の時点で、
0:25:28	大分が決まってから、自分が大丈夫だと言いますけども、大事じゃないの。
0:25:34	はい。担当すると。
0:25:36	はい、そうです。
0:25:51	規制庁筈です。最初入口の話だった。
0:25:54	して、で、
0:25:55	今ちょっと
0:25:57	ですけど
0:25:58	入口プラス、もう一步踏み出したところぐらい。
0:26:03	設計プロセスが確からしいかっていうところを、
0:26:08	話をするのは、計算書をぱっと見て、大体、
0:26:13	こんなもんかな。
0:26:16	今、00 資料昨日出てきたんですけど、
0:26:19	計算書全部ついてないんですよ。
0:26:24	どうやってヒアリング進めるんですか。
0:26:29	すいません、日本原電の瀬川ですけれども、戦時Ⅱ溢水の強度評価に対して、同じようにですね、別紙 4 で計算書がついてないと。
0:26:40	気をいただいております。
0:26:44	ちょっと良かれと思ってやったことが裏目。
0:26:47	出るかなと思います
0:26:51	出させていただいた、昨年末に出させていただいた申請書の計算書をですね、表紙をきちんと変えて、
0:26:59	00 資料として添付するだけですので、そこはきちんと、
0:27:05	はい。
0:27:07	同じ資料が、
0:27:11	表紙を変えて、
0:27:12	どんどん
0:27:13	料無料だったので、どんどん同じものがこうでるのも、ちょっとまずらしいんじゃないかというふうに慮った結果でございます。はい。

0:27:23	はい。政調会ずわかります。一通りつけてもらうってということなんですけど。
0:27:29	特に耐震の期限がですね、
0:27:34	申請書の計算書の内容が、
0:27:37	尾花。
0:27:40	です。
0:27:41	ひどい。
0:27:44	全体横同士してチェックしたことっていいですか。
0:27:50	の状況だとムラヤマさんでしょう。
0:27:55	すいません。
0:27:57	社長と話してたもんでほんとだけ随分見えてないんですけど、
0:28:03	含めて公共ですけど、
0:28:05	聞いてたんですけど、
0:28:08	要素サーバーさんですか。
0:28:11	いないから。
0:28:13	結局、チェックしないで出したということですね。
0:28:18	私はすいません私はですね、ごめんなさい。
0:28:22	規制庁から、あれでチェックしたって言われても困ってない。
0:28:26	なんですけど、どうしようかって言う話で、
0:28:32	こっちはそちらとは違って見てますから、何でうちだけ見てますよ。
0:28:37	変なとこ、こういうところあるねってのは下大体見える。
0:28:41	それをヒアリングで伝えなきゃいけないのか、いやいや僕たちちゃんとチェックして、
0:28:49	チェックしたものを、002、添付して、いつまでに出しますっていう話にするのか、その話をしてもらう。
0:29:00	はい。日本原電の後です。
0:29:06	まず事業者として中身をきちんと確認して、修正したものをお出ししたいと考えております。
0:29:14	古作です。すいません。星野さんて、条文担当として全部フォローできる立場の人なんですか。
0:29:22	一応、
0:29:24	耐震グループの自由ではあるので、耐震グループが耐震評価は、各施設全部まとめて、

0:29:31	整理をすることになってます。これは、彼としては逆に言う役割としてやらなきゃいけないと。はい。
0:29:38	国井です。特にひどいのが来て、
0:29:41	舘野稲森、難しいですね。
0:29:45	あれ、ハバサキさんとか、土木構造物、何かあります。
0:29:50	まあまあ、とりあえずこういう話を聞こうかなっていうレベルなのか、おいおいっていうぐらい、どうですか。
0:29:57	はい。
0:30:00	ちょっと防空が今回初めて出てきたんですけども、労働関係ですね、
0:30:07	としては、基本的には
0:30:10	国会中
0:30:11	普通のスタイルで、
0:30:15	或いは適用カー。
0:30:17	の場合はですね、その中に含んだ形で、液状化検討という形でセットなイメージを持ってたんですけども、
0:30:25	藤真船も続いてきた申請書の、
0:30:28	掲載見る限りではですね、何か液状化を駅影響評価のところに載せてあるような形。
0:30:36	をとってて、
0:30:37	なぜそういう形、どのようなせ、こう伝えるとってないのか。
0:30:43	非常に
0:30:44	わかりにくい。説明の内容も情報も少ないというところもあってですね結論社会が見られますのでですね。
0:30:53	ちょっと今の段階で、先ほど瀬川さんから申請書の計算書区分をそれぞれにつけるだけですかみたいな話をされたんですけども、
0:31:04	ちょっと構成の見直しからですね、
0:31:07	実は必要かなというのは個人的に思ってますが、そのあたり、事業者の土木担当の方、
0:31:14	すいません。
0:31:17	お伝えください。
0:31:19	ございます。

0:31:20	添付資料をですねちょっと綺麗な山だけと相談させてもらったんですけど、経過については、むしろちょっと影響評価水平方向と同じ扱いで出そうかといった形ですね。
0:31:33	ちょっと社内で経過したところでございますけど、
0:31:36	こちらに小磯がちょっとおかしいという。
0:31:39	ちょっと止められるということで、つまり裏になって、
0:31:44	ちょっと木田さんとちょっと相談して、国政等をちょっともう1回お願いしたいと思います。
0:31:50	例えば、すみません、難しいコサクです。
0:31:54	なんで記念と相談する必要があるんですか、液状化で。
0:32:00	あれ、あれ、うちで一遍作ってですね。
0:32:04	その評価してますんで、
0:32:07	要するに同じ価値のところと思ってた方がいいです。
0:32:12	コサクです。ごめんなさい。ちょっと音声が途切れ途切れですけどな。何だかよくわからないんで。
0:32:20	日本原燃、すみません、内野コサクです。ごめんなさい。頭使っているのっていうんだったらより一層影響評価じゃ駄目ですよ。
0:32:36	わかりました。じゃ、ちょっと19時許可については、添付資料のところにも、いうのがちょっと僕だったらやりたいと。
0:32:47	日本原電、完全に
0:32:51	耐震の機器耐震みたいに耐震計算の方針とかですね、頭の骨格をちゃんとまとめないまま、参照する多分そんなことになる。
0:32:59	実はだけ読んで影響評価だろうみたいなことで、多分つけたただけなんです、ちょっと全体構成ちゃんと見てどういう流れでどういうふうで評価するかってのちゃんと骨格を作った上で、多分それがちゃんと書いてないと。
0:33:12	結果は全然わからないんで、そういうことをちょっと整理して、はい。載せ直したいと思う。
0:33:17	はい。補足ですよろしくお願いします。
0:33:19	で、本来こういう話って第1回で終わってなきゃいけないのに、なんで蓋開けたらっていう状況になるのか非常によくわからないんですけど、今言ってもしょうがないので、
0:33:29	早急に、

0:33:31	対応されて提示いただければと思いますけど、またその作業スケジュールいかんではありますけど、また蓋を開けたら違うみたいなことになってもしょうがないと思うんで。
0:33:43	どう進めるのかよく。
0:33:45	検討してスケジュールを提示いただければ、
0:33:50	はい、弓削西田でございますしました。
0:33:53	審査会合ぐらいなヒアリング課の場合でも、昨年末にお話した通り、体制は特に屋外のところ、重要、屋外重要土木施設と、建物構築物、
0:34:06	チームが分かれてる、さらにそれが細分化されて、かつ誰も全体見てないっていう、中途半端な状態良くない状態なのが多分これ、今の結末な気がします。
0:34:17	ここで、
0:34:19	なので第1回出したときも、中途半端にある添付書類でカッコ屋外重要土木設備を除くって、
0:34:25	括弧書きで書いてあったりしたと思うんですけど、ああいうのもまさしく一緒にちゃんと作っておけばこんなことにならなかったはずなんで、
0:34:32	もうちょっと整理をして、ポイント整理させていただきます。
0:34:35	はい。
0:34:36	清長官でして、第2回で、
0:34:40	今度、
0:34:41	一つの縦割りの中のキーが各施設かという、また手前に作業を発注しているから、
0:34:49	なぜかおんなじ累計の設備なのに、建屋ごとに計算書ができて、
0:34:55	さらには、
0:34:57	建屋ごとの計算書に書いてある内容が違ったり、フレーズに書き込んで内容が違う。
0:35:03	マンションセンターが何語使い方から何から何まで、表層上がってない。
0:35:11	ですから、
0:35:12	それを改善してもらいたいんですけど、
0:35:14	スケジュールと、
0:35:16	今の段階でっていうのは、なんですけど。



0:35:19	何かほっといたら結構時間もかかりそうなんですが、どんなもん、どれぐらい目標であります。
0:35:27	もしくは電力費、
0:35:29	日本原燃吉尾です。すいません菅家さんの
0:35:33	お話はちょっと取り入れ取り入れて、もうちょっと何かいい部分があったんですけども、
0:35:39	計算書が、建屋ごとに分かれてるに関して、
0:35:47	構成を見直さないみたいなことを仰ってましたかな。いや、そこまでは言ってないです。安倍さんの一つとして挙げただけなんで、ぜひそれは、
0:35:57	今の段階で集める必要はないかなと。
0:36:02	最終的にはわからないんですけど
0:36:04	コサクです。構成は見直さなくてもいいですけど、内容は同じものにしてもらわなきゃいけないくて、
0:36:11	記号が違くなり何なりっていうのも、同じ方針書に基づいてやってるはずのものが、記号が違うなんて有り得ないと思いませんかもしれません。
0:36:21	うんホシノです。はい。規模が違うのは言い訳のしようがないです。はい。はい。補足です。言い訳のしようがないものをなぜ申請したんですか。
0:36:33	チェックしたんですよ。
0:36:39	日本原燃、越野です。
0:36:43	チェックは、
0:36:45	しましたが、ちょっと目を通してしまう。
0:36:50	そうだと思います。
0:36:52	はい、そうです。そういうしかないんですけど。うん。結局そのレベルでしか見てなかったっていうことですよね。
0:36:59	それでは困るんですよ。
0:37:03	そちらの担当者が見てもいないものを我々が通して見なきゃいけないってどういうことだということなんで、
0:37:08	条文担当シャワー我々よりもしっかりと見て、エビデンスまで、場合によってはさかのぼってみて、
0:37:15	代表設備以外を見て、

0:37:17	いうことをやらなきゃいけないということだったと思うんですけど、いかがですか。
0:37:22	現場見てっていうのは施設課だけであって条文担当は見なくていいんでしたっけ。
0:37:30	日本原燃越野です
0:37:32	おっしゃっていただいた通りで、確認をしないとイケないなというふうに思います。現場を見るっていうことに対しては私の方も現場には、
0:37:44	実物を見たりということはしておりました。以上です。はい。コサクです。最終的にやってもらわないと困るので、それはやっておられるんだと思いますけど。
0:37:55	その成果というのは、結局申請書までさかのぼってきて、統一感を持った書類を作り上げるというところまでやって初めて仕事が完結するので、
0:38:05	その点今後の作業としてよろしくお願いします。
0:38:11	八代です。承知いたしました。回収だけじゃなくてやっぱり私も事務局長として、そういう数字を付加してしまったところもありますので、そこはちょっとしっかりとしている。それから計画的にやっては、制度の中でも難しい。はい。
0:38:27	はい。はい、わかりました。そうだと思います。
0:38:31	話で1ヶ月でおさまるものではないと私は思う。先ほど言いましたけど、思ってますし、取りつつ、申請を
0:38:39	して議論を具体的にスタートしたいという思いがあったの理解をしているので、だからこそ、前回会合で継続的にということを言われたんだと理解。
0:38:50	してます。なので、その様をしっかりとこれから
0:38:55	というところで、
0:38:59	はい、規制庁カミデつって、無理のないスケジュールっていう中で難しいかなくちゃいけなくて、
0:39:07	結構時間かかりそうだなと思ってるんですけど、さっき言ったみたいに蓋を開けてこうなっちゃうっていうのがあって、
0:39:15	デッキレベルだと、こういうところを直しますと直しますっていうのも、以下挟む。
0:39:23	つまり、

0:39:24	そういう感じで進めばいいんですか。もうちょっと1回見てみます。自分たちがない。
0:39:34	日本原電イシハラです。見ていけるだろうっていうのは当然だと思うんですけどおっしゃってたようにかなりバラバラでっていうのがおっしゃる
0:39:44	耐震計算の計算書としてこういう形で、こういう記載をつけた上で、作りますってベースみたいなものをですねまず作って、
0:39:52	それを多分機器によってとかタイプによって違う場合もあるので、何かの代表選手だよ。
0:39:59	てみて、それで一度お話をさしていただいて全部に展開するとかっていうステップ、
0:40:05	Dががですか。
0:40:07	思ってたのをそこまで綺麗にしなくても、大体、項目は、文字はできて、連携式F E M、あと配管が、
0:40:20	返ってきた赤の網で作ったやつと、
0:40:24	まあまあそんなに、はい。それぞれこの1ポツに何を分けますますところぐらいでも高いし、その中で
0:40:34	今、平仄がとれてないのは、こんなもんですっていう。
0:40:38	ところぐらいいい。
0:40:40	でも、伺った理由で、できれば来週中ぐらいにそういう話があったんだ方が、
0:40:47	いいんじゃないかなって、それ見て、いや、他にもこういうのありますとか、こういうところがわかんないんです。
0:40:55	じゃないかなと思いますけど。
0:40:59	その時にもしあれだったら、
0:41:02	はい。
0:41:03	最後のやつはまたあれだけど、
0:41:07	別紙4-1のその各条からどう入ってくるかっていうところぐらい話石垣君だったら聞いても、
0:41:16	それで調整してもらおう。はい。
0:41:23	で、
0:41:24	耐震として今日話をしたかったらそれで以上なんですけど、
0:41:29	今のってまだ第一歩目ぐらいの話しかできてなくて、

0:41:32	そのあとどうすんのっていうところはまた確認しなきゃいけないですから、取っかかりとしては今ぐらいの話と入力地震動、もうだけいっぱいだと思うんですけど、
0:41:42	かといって、じゃあ、2月にその班にフジノぐらいだとしても、3月に、
0:41:48	はい。それに対して、
0:41:51	不足するだとかあとは、
0:41:54	会合でわざわざやるようなものではない家族も当然、今スケジュールリングをされている。
0:42:00	ですけどその辺も、資料はここに出すけど、いつぐらいに説明したいっていうところは引き続きやっていかなくちゃいけないので、
0:42:11	補足です。
0:42:12	最初かけてい。
0:42:14	その入力地震動というところの中で、
0:42:18	気になってるのサポートレーン。
0:42:21	圧壊。
0:42:22	なんですけど、そ、
0:42:24	は、
0:42:25	もう説明済みなんですか。
0:42:29	別府。
0:42:30	地下水排水設備ですね。あれは今回のイナヅマです。はい。説明資料につきましては、第1回の補足説明資料にありますけれども、
0:42:41	そこの会社でも出産中で、最初についてはご説明差し上げてございました。
0:42:46	具体的な利用の考え方ですか、
0:42:49	ポンプのCをどうするかということについては、説明はしてございませんでした。その方は第2回、
0:42:56	今回申請した資料、また補足説明書を使ってご説明したいというふうに考えてございます。以上です。
0:43:03	はい。補足ですよ説明はされるのはそうだと思うんですけど、いつぐらいに、どう説明するのかっていうのの話をする地震動の計算条件になると思うんですけど。
0:43:15	頻度としてはまだ関係ない。はい。次の地震応答解析から、

0:43:23	まだそんなことでやれば、次ぐらいのタイミングだと思う。
0:43:29	ていうところばツガネわからないんですよ質量、どこで見ても、はい。
0:43:35	なのでその説明項目がそれぞれ関連性があるので、
0:43:39	そういう順番ぐらいがわかる。ます。第 1 部と一緒にですけど。はい。
0:43:45	ビジョンを見せてください。
0:43:50	特にサブドレンは工事も今もってしてるぐらいの、
0:43:54	設備なので、その関連性は重要だと思いますから、
0:43:58	よろしくお願いします。
0:44:02	成長ヶ月で耐震ってことも話し終わらせちゃいますけど、1.2 S s の話が あって、
0:44:09	心づもりとしてその淡々と 6 条 33 条と一緒に聞いていく感じで聞いと か、何か特別、早く話をしたい。
0:44:20	はい。日本原燃の成果ですけれども、
0:44:25	やはり 1 D S s 語る上ではですね、S A の時に要求される機能というの は何なのかといったところをきちんと認識はしなきゃいけないと思って おりますので、
0:44:37	設計基準で言うところの対象建物 30 のようなですね、
0:44:40	資料を一斉版としてしっかり準備をさせていただきたいと。
0:44:45	考えてます。そこのご説明をしっかりさせていただいた後に、
0:44:51	それさえできれば、
0:44:53	あとは、淡々とその認定する評価に流れていったなという認識。
0:44:58	もう、
0:45:00	地震応答解析までは確かにそんなに、
0:45:05	何だろう。
0:45:06	よっぽど厳しくない。はい。
0:45:09	一緒に、クライテリアだけっていうことであればまたそういう流れでい いだろうし、もっと手前から手を入れているんだっていうことであれば、 そういう話も、
0:45:20	今ところは、そういうぐらいの、
0:45:22	古作です。いや、逆に言うと、
0:45:26	その程度なんだから、クライテリアなり以外は、まとめて説明しますっ ていうことではない。
0:45:36	はい、日本原電の瀬川です。

0:45:40	S A S A、ちょっと後程出てくるS Aですけども、
0:45:44	S Aで考えておったのはですね、まず血清の対策っていうのがどういう対策なんだと、どういう系統を使ってどういう対策を講じるんだといったところの説明から入りまして、
0:45:58	どうですか。何だろう、さっきのね。うん。
0:46:03	並行で走りますよねと。はい。言ったところの、はい
0:46:09	対象設備なり何なりっていうのをやるっていうのは今言った瀬川さんが言ったようなことをやらないと、はい。出てこないんだけど、
0:46:17	地震動なり応答解析、うん。
0:46:20	ベースを作っていくと。
0:46:22	いうところにおいては、特定をしてなくても、はい。少なくとも方法は、それは話ができるわけですよ。方法は、
0:46:30	今日乳井ですけど先ほど神谷さんがおっしゃっていただいたビジョンの頭につける各
0:46:36	条文の関係ですかね。
0:46:38	あれで、S Aをどこにぶち込むかによって、その前のやつは一緒ですなんですけどそれがなんでそれでいいんだも含めて、そのときに説明できれば、全体の因果関係とかニックはできるかなと思ってました。
0:46:49	はい。何でそうなのって説明しないといきなり矢印書いてもしょうがないんで。
0:46:53	はい。
0:46:54	はい、そうです。結局1.2倍をしているだけで、
0:46:59	従来のS sのところ、従来の変化
0:47:02	第1回でやったS sの範囲の話っていうのは、1.2倍の強度になっても、
0:47:11	その適用範囲であるのか。
0:47:14	いうところに尽きるわけで、
0:47:18	それが説明が難しくて突飛にやらなきゃいけないのか。
0:47:23	いうことなんだと思う。
0:47:26	ですよ。
0:47:27	そこら辺の整理をして、

0:47:32	有限に示す特にあれですね、許容限界だとかいろんな数字を持ち込んで、多分議会まで引っ張ってどうのこうのって話をしたときに何でそのS E がそういうことやるのみたいな、
0:47:43	話も登場すると思うので、そこの整理もした上で多分、それぞれの条文のリンク、どこに入れるかって話が出るのかなと思ってました。
0:48:02	多分我々がやろうと先生も、かなり乱暴かもしれません。そういう意味でいくと、もともとのその耐震でいう33条とか、6条でいう耐震評価を流れる中でいう、
0:48:13	許容限界なのかいろんなところ、どこに手をつけるかによって多分横から突っ込んでもいい話なんですけど、
0:48:20	S A のときに、なんで前ではないのでどこまでやりますかによって、手をつけてる場所によって多分、評価の流れに対して何か、さっきの枝葉じゃないですけど、枝葉の一つじゃねえのみたいな話もある可能性もあるかなと思ってる。
0:48:37	1. 二倍しますって言って2倍しますと言った場所からは絶対入れなきゃいけない。はい。
0:48:43	ですけどやってることは変わらない。
0:48:46	確認だけ。
0:48:48	というのが実態だろうね。
0:48:51	それでいい理由をざっと説明すれば、
0:48:54	言えたんですけどそれを後でやるのを同時にやったら、
0:49:00	その説明内容に応じて、こちら、一旦、
0:49:10	全般的に気になってるのは、
0:49:13	時間がずれると。
0:49:15	同じですって言われても、同じかどうか忘れちゃってるのもうわかんないからもう一度聞くっていうこと。
0:49:20	なる。
0:49:22	ような気がするので、それはムーた作業の定義、ネットを持っててですね。
0:49:28	そうならんように、よく、
0:49:31	スケジュール、
0:49:32	考えて、
0:49:33	分けてやるんでしょ、まとめてやるなら。

0:49:36	まとめてやれるようにその前段の説明をして、
0:49:42	どちらでも構いませんけど、
0:49:44	よくわかんない。
0:49:49	はい。規制庁鏡です。大体耐震はそんなところ。
0:49:54	いや、ようやく 1 ページ目。
0:50:01	大門。
0:50:07	続いて 3 ページ、竜巻です。第一部で
0:50:14	田尻さん、助け船を出していただいた。
0:50:17	通りというか、そういう思惑で、上の 1 ポツの四角をまとめておりました。
0:50:24	竜巻のですねどういうまとめ、累計で整理できるかといったところが引き続き宿題として残っているという、
0:50:33	認識です。
0:50:34	一方で第 1 回で、冷却と配管方向ネット建屋といった部分を、
0:50:39	申請させていただいておりましたので、まずその A4 区分ですとか、こういったところに包含されるものがだんだんだと。
0:50:47	そういったところをきちんと、第 2 回で申請する設備の、
0:50:51	具体、見て、説明させていただいて、
0:50:55	同じグループで整理してもいいよねといったところの、
0:50:59	認識合わせをしたいというのが、まず思いでございます。
0:51:02	それ以外には、初めて出てくる設備もありますけれども、それもやり方としては同じでして、同じ種類の設備を横に並べてですね、
0:51:11	まとめて整理していいよねといったところをですね、今後の 1 ポツ、
0:51:17	中で、
0:51:18	まず説明させていただければなというふうに考えておりました。
0:51:22	で、具体的にじゃあどうやってやっていくんだと。
0:51:25	言った部分ですけれども、今考えていたのがですね、設工認申請書を提出させていただきましたので、関連する図面類をですね、抜粋したものの。
0:51:36	あと、00 資料も先日提出いたしましたので、その中で出てくる構造計画とかですね構造、解説している部分がございますので、そこを抜粋して、
0:51:47	それを設備単位にまとめてですね、



0:51:51	作品説明というか、違いの説明。
0:51:54	の、
0:51:56	ネタとして使っていきたいなというふうに考えています。
0:52:01	まずとっかかりは、
0:52:06	生協の田尻です。
0:52:07	ですね、六ヶ所だと聞こえてますけど、ちょっとこれ聞き取りづらいらしいんで一応確認なんですけど、
0:52:14	まずね。
0:52:15	出てくるのは、会合だけじゃなくて、この場でもゆっくりしゃべった。はい。
0:52:22	ご意見、はい、規制庁滝ですけど、サカモリでございます谷井さんの音声今は明確に聞こえました。以上です。はい。
0:52:31	大谷です。
0:52:32	竜巻に関しては、丸い形は、そのあとやるのかもしれないんですけど、説明が少しあったように、
0:52:42	まずはこれまでの預金分として出てきてなかった人たちを、意識上げてもらって一応、
0:52:50	申請だとか、0での資料とかに名前出てきてるんですけど、そしたらもう1回上げていただいて、先ほどおっしゃっていただいたように図面示していただいて、こういう構造ですと、
0:53:01	それを示していただいた上で、最終的には結局強度とかの話になってくるんですけど、耐震とかの方でやっている計算式だけで示せそうなレベルなのか、解析をしなきゃいけないレベルなのかっていうのは、
0:53:15	ずっと一緒にやれば、どういうふうに示そうと思ってますけど、当然建てると思ってます。
0:53:20	変えていく中で、そこんどこでどこまで江田を消す%に関しては、原燃でどれぐらい時間かかるかによるかと思うんですけど、例えば建屋に関して言うと、防護対象とかっていう意味でいうと、全部鉄筋コンクリーなんですけど、
0:53:35	掛谷営業とかに言うと、鉄骨だなとかっていろいろ重ねてたりしたので、そこらの話も当然出てくるとっては思ってますけど、ここんところでちょっと、原電がどう説明しようとすれば成立いただきたいのか。

0:53:47	耐震等に普通ほぼ一緒や力が多分いると思っていて、特に波及影響とかになると、飛来物で瓦れきをしてくるっていうよりは、多分壁カミデ崩れるとずれないとか、原因が幾らかみたいなところをメインでやろうとしてると思うんですけど。
0:54:03	浜崎折田瀬谷なきゃいけない話なのか、それとも、最新の横並びとりながら説明しようとしてるのかとかによって、同じことを2ヶ所で説明しても多分ことはないと思ってるのでそういうところをどうしようとしてるのかとかって言ったやつを、
0:54:19	新しい工業技術災害なことに竜巻は、
0:54:22	あなた方ずっと100ぐらいだと思うんすよ。その中に、やっとなのであるとかそういった形の関係の話とかが30個っていたりして、建屋も十分とかいうことがいて、
0:54:33	東洋人物連携ってのは最後にやるから今時点で忙しいんですけど、こいつら努力値っていうのはわかりやすく出てくると思ってます。
0:54:42	で、ネットの方の話に関して言うと、分け方なのか、越焔じゃないのか、基本的に第1回で説明した範疇なのか、そうじゃないのかって言うんだったら、
0:54:55	この部分は追加ですっていうのを別に小浦が何か書いてもらえばそれでいい話であって、
0:55:00	板の話も理屈一緒に、こいつをいざ団体それぞれ見とくっていう意味でいうと、多分1回の話はそんなずれないんですけど、ネットにもいたがいたので、
0:55:11	ただで傘が違ったり、任そうと出てきますよっていう話があって、ここんところはまた解析の話が出てきますっていう、もうこれはまた最新との絡みとかも出てくるんですけど、
0:55:22	それぞれの登場人物を書いていただいて、それぞれについてで計算しようとしてんのか解析しようとしてるのか。
0:55:30	ていうものぐらいやっていただいて且つ、下へ1回のやつも含めてが使えるのか、耐震Sが使えるのか、先行例があるないっていうぐらいをまとめていただいた分、
0:55:42	1回出していただいて議論すれば、勝手に累計されるんじゃないかなと思ってるところがあります。で、ただしそういうふうになんて自分が言われててよくわかってないのが、木場さんな。

0:55:53	余長項目の話は、先行とかでもやったりしてるんですけど、予兆じゃないか小中さんがされていて、何か、どこまで説明されようとしてるのか
0:56:03	予兆じゃないやつもうもろ手落ち着けようなやつだったら風呂数だけで終わるような話も何か、このままで答えてるところがあったらいいでロープの余長や最悪の話も書かれてるんですけど、多分これ車両ではないはずなんで、
0:56:18	そこまで議論どころじゃない気がするのなんかたくさんついてたりするので、
0:56:23	審査会合に綺麗にしてくださいねわーわー今チダで言っても仕方がそうなんて言わないすけど。
0:56:28	そこらの話も、この小牧の方もどうしようとしてるっていう話も、結局メンバーと出てこないはずなんですよ。
0:56:36	余長悪いやつないやつ、マボルトだけなのは嫌なのかっていうぐらいの話しかないはずなので、何を評価として示そうとしてるのかっていうやつをそれぞれ書いていただいて図があれば、
0:56:48	今後のまとめで説明できそうですねみたいな話が最初にできるんじゃないかなと。で、
0:56:53	それまでしたら、
0:56:55	多分そんな多くないはずなんですよ。スタートの荷重がどうなるかっていうところに関して言うと、真木あったところの細かいやつは1回イメージやってないんですけど、
0:57:05	基本的に、竜巻の規模が変わるわけでも何でもなくて、前述の面積とか変わるとか、協力委員会が変わるから、はい。永井。
0:57:14	話が変わるから、和気補佐。
0:57:19	なので、さっき言った通り、対象メンバーしっかり出していただいて、どういう構造なのかっていうやつで、あと、北岡油井なのとかの解析なのかというところをまとめたやつでまず議論しましょうっていうのが、手挙げたらどうですかっていう
0:57:36	のを聞いてみたいんですけども。
0:57:40	はい、植村サカモリでございます。今谷井さんもし、ちょっと私なりに理解すると思います。構造上ですねそれを明らかにした上に、

0:57:50	それぞれの施設ですね道路へ何に対してどのような結果をしているのかっていうのを表形式の場面で見せまして、その評価たという仮定計算の解析。
0:58:02	発電所の審査実績があるのか、対象警察は全く一緒の内容なのかとかそういったことを整理して、ところを審査しなきゃいけないのは何なのかをまず一発な審査で、
0:58:15	やっぱり現場で確認しましょうとおっしゃっていただいたと理解してますが、やってますでしょうか。吉武京谷です。今おっしゃっていただいたように、とりあえず対象種があるのかははっきりさせて、竜巻オリジナルで今回見なきゃいけないやつ何かで、
0:58:33	今まで聞いたことが先行例含めて聞いたことないやつっているのかっていうところを最低限スタートとして押さえてしまったら、あそこにいるんだったら調整の上になるので、そこから押さえた方がいいかなと思っていますで、
0:58:46	原田山梨以下、次にすぐ進めそうだっていうんだったら、次のヒアリングまでの期間を短くすればいいだけの話なので、まずスタートそこぐらいをしっかり押さえたいかなと思っています。
0:58:57	古作です。ちょっと追加で言うと、単独でやれるものはやりましょうというのでスタートを切るのはいいんですけど、先ほど言ったその耐震と関連があるとか、
0:59:08	他の関連があるものの場合はそれとの関連性をどうつけるのかと。
0:59:13	説明の順番どうするのかというのは、別途そちらの話として必要なので、
0:59:20	それは
0:59:22	それとしてしっかりやるようにしてください。
0:59:28	はい根井浅見でございます。岡崎基本的評価回収と一緒にありますので、そういったパッケージちょっと対象はコミュニケーションをとってですねとどういう順番で何か説明してコアで調整していく手段で調整していきたいと思います。以上です。
0:59:45	はい。清町タジリです。今言ったような話って多分材料はもう、ここで申請書のどっかについてるような強さてみれば、すぐできるんじゃないかなって気もするので、

0:59:56	別にそれで、必ず1週間ヒアリングはぜひ今回それから、通常はとってもいいですけど今回そこまで言わないので、そういった点を考慮した早め早めにまず1回目できればいいんじゃないかなっていう気がしています。
1:00:09	あと若干関連してますけど、3ページの資料で、
1:00:13	耐震評価の外部火災業務関係というやつを、
1:00:19	耐震補強の外部火災とかじゃないかってやつをいろいろ、これは伴ですかね。はい、そうですね。
1:00:28	揺らぎです。先ほど言ったやつでまず1回は見れば見やすいかなって思います。はい。以上です。
1:00:40	ちなみに、
1:00:42	古作ですけど、一番上の1ポツのところのB2って書いてあるところに、各冷却塔括弧耐震補強外部火災って書いてあるんですけど、
1:00:53	外竜巻、耐震補強関係あるんですか。うん。
1:00:57	関係ないですよ。単純冷却塔の方でこういうことがありますよ。はい。はい。
1:01:02	それだけっていう。
1:01:04	竜巻起因でやってるわけではなくて、耐震、耐震要求、
1:01:09	とか、あとが、火災要求でも、
1:01:12	耐火被覆の2人。
1:01:14	そういったところのもろもろ冷却等に絡んで、
1:01:16	それは複数条文に跨るのでまとめて説明した方が、
1:01:21	合理的かなという思いを、
1:01:23	はい。
1:01:24	すいません。
1:01:25	コサクさんのご質問の補強は、別に竜巻の関連でやってるんで、
1:01:31	コサクです。今の話だとちょっとまたわからなくなってきましたけど、
1:01:38	話は二つあると。
1:01:40	思いました。はい。一つは、
1:01:42	補強とかをしてるから、それを踏まえた竜巻防護としての評価を進めていけませんよっていうその前提が変わってますというところに、
1:01:53	もう一つは、瀬川さんが言われたように、

1:01:58	説明の方法として、関連するので、まとめてっていうところの関連性としての、はい。
1:02:05	はい。いうこと
1:02:06	で、
1:02:09	等、どっちもあるって言えばあるんだけど、
1:02:14	な、どこでどういう必要があるのかなっていうのはちょっとよくわからないなと。
1:02:19	思いました。
1:02:22	特に街竜巻でこれを、
1:02:25	予約優位性をあんまりない。
1:02:27	単独で多分話できるのかなと思いますし、第1回申請の時に、もう外部火災と、
1:02:35	二つの日は別に同時にはヒアリングしてなかった。
1:02:39	はい。思うので、
1:02:42	その点は、
1:02:44	まだ、
1:02:46	少なくとも飛来物防護ネットはもう実績があるんで、淡々と説明。
1:02:51	もう、
1:02:52	していただければいいんじゃないか。
1:02:54	平松交番の方はちょっと、
1:02:57	同じでいいのかどうかっていうのは少し話を。
1:03:00	した方がいいかもしれないんで、その辺は整理して、
1:03:06	規制、
1:03:07	今日、深見です。うん、冷却塔の耐震補強は別に、
1:03:12	竜巻はもともとなんか公認で、もう補強前で二つの評価やってるわけじゃないすか。うまくいった話。
1:03:19	じゃなくて、淡々と
1:03:22	構造強度は、耐震って竜巻としては創造計画がありものとして、評価すればいいし、
1:03:31	もうバイパスというのはもう別にセガワ別にいいし、一緒に説明した方がいいんだったら一緒に説明しますと、そういう感じです。項目としてあげてくれればいい。

1:03:40	多分生煮えということなんだと思いますけど本当に一緒に話を聞いた方が、
1:03:47	疑問、何か防護ファンとかは確かにあやしいな、要は分離建屋のたつと うのやつとか、建屋、
1:03:55	政治、
1:03:58	構造概要を掴むところから、我々話を聞かなきゃいけないような気がする んですけどそれはお互いやってもしょうがないでしょ。
1:04:06	こんな提供の対象。
1:04:08	別の話。はい。ちゃんと分けけて、はい。進めてもらう
1:04:12	はい。
1:04:16	院長補佐地熱やはり 8 ページなんですけど、
1:04:19	意識合わせておきたいんですけど、えっと、Bを抽出しましたっていう 形なんですけど。
1:04:25	先ほど管理の方から言った通り、今まで評価したことないんだから、18 人だろうがなんだろうが、そういう人物は別に全部ここに書かなくてど うでもいいんですけど、
1:04:35	スタッフだけ重ねて商売してもここにいなかったりとか、何か非常にこ こで何を指名しているのかよくわかんなかったんですけど。
1:04:43	はい、日本原電の。
1:04:45	セガワ、悩みました。悩みました。
1:04:49	で、
1:04:50	先ほどの資料 1 のところでですね、これ、
1:04:54	ここ出てきてる向上人物防護ネット以外は、B、B2 ですね、条件追 加になりますけれども、
1:05:02	そこで先ほどの資料 1 の方ではですね、
1:05:06	改造を伴うもの、
1:05:08	と新設は、きちんと構造説明 2-1 の部分ですね、をきちんとしまし ょう。
1:05:14	いうことを書いていたので、
1:05:18	その範囲にまず収めた。
1:05:20	というのが今の三瓶すると、
1:05:23	ただ、

1:05:24	竜巻の観点で評価するときには、楽とかどういうふうに発展だとかそう いったところもやはりインプットになりますんで、そこは説明を完全に 省略できるという認識ではなかったです。表現をしません、必要に 応じてやらなきゃいけないと。
1:05:41	京谷です。井藤変わりました。ただ今回、先ほど学校の話とかで言う と、リーダで全部おっしゃってた塚田井関下流とかは、君島
1:05:52	前にあって見ますよとかいう、1種管理をどうするのかとか位置関係と かも全部必要ないって何考慮するのっていうところをもう、
1:05:59	小石さんがこれだけやっていきますってやられると、後で何かよっぽど 高くなるので、この統一的にとる現物毎回出てきていただいた上で説明 いただくとか、
1:06:09	あとで5時間だったら切りみたいな形にはなりかねないと嫌なので、
1:06:14	その辺だけはよろしくお願いします。
1:06:19	はい。
1:06:20	こちら承知いたしました。
1:06:22	規制庁カミデさんの資料1との関係で、改造だからって言われましたけ どやっぱそんな条文との対応の関係で改善がどうか。
1:06:33	耐震でいうと、貯蔵ホール、今回なってますけど、対象としてますけ ど、じゃあ、第4条で説明すんの。
1:06:42	四条で、日本はもう決まりきった的制限値をするという、思います。 で、説明がない。
1:06:49	ちょっとそういう観点じゃないか。はい。
1:06:55	谷井です。ちょっと追加でできるかどうかっていうところ見てなんです けど。
1:07:00	今回防護ネットの話をするときに、
1:07:04	ヒューマンとかの話が出てくるんですけど、さっき耐震の条文との絡み は少し話を出したんですけど、
1:07:11	定例は冷却機能の絡みだから、じゃ、閉じ込めとかってつけているの か、竜巻意識説明しようとしてるのかどうかはちょっと今掴めてなく て、閉じ込めの条文の資料を見る限りだと、特に何も補足して説明しよ うとはしてなかった気はするので、
1:07:27	竜巻で説明しているっていうことがある。瀬谷坂野の計算結果は、書い てある見たんですけど、



1:07:36	冷却機能についての補足は佐貫にくつつくのかにくつつくのかとか、ご迷惑をおかけする場面っていうのが、多少いったりする気がするのでその辺りは、今回じゃなくてちょっとさらに一歩進めって言われるんですけど。
1:07:52	どっかにお聞きするのでよろしくお願いします。
1:07:56	はい。日本原燃の瀬川ですこれは、
1:08:00	イシハラとも話してた。
1:08:02	ところなんですけど、
1:08:04	新設つか新設ってあんまり影響なくはない、新設と改造です。
1:08:10	これやることによって、変更なし上、
1:08:14	館まさに閉じ込めですね。
1:08:16	と事故名のもともとの安全室にその改造ってのがどう影響しても影響してないのっていうのは、これは説明が絶対必要だと思っております。
1:08:27	ただ、それを、
1:08:30	どういうアプローチでやっていけばいいのかっていうのが、まだちょっとイメージできてなかったところもあるので、
1:08:36	やり方の一つとしては竜巻で、各条文の各条文のニーズの観点で改造だとか新設っての必ず相乗してきますんで、その登場してきた断面ですね。
1:08:48	08 資料の、
1:08:50	当設備のマトリックスの関係から、変更なし条文なりついてるような設備改造が加わってるのであれば、そのタイミングで抱き合わせで、
1:08:58	変更なしの変更を出したり、例をきちんと説明していくのがやり方としてはいいのかなと思いつつ、ただ体系的じゃないなと思いつつですね、ちょっと約進め方、悩んでると。
1:09:09	はい。
1:09:10	コサクです。ちょっとよくわかんないですけど、変更なし条文は変更なしという必要がなくて、はい。
1:09:16	変更あせ条文を
1:09:19	関連条文であれば説明をする以上、はい。です。はい。
1:09:25	その説明が影響ありませんだとか、こういう影響があり得るのでこう対応してますとかっていう、
1:09:32	ことだけでは、どちらにしても申請書の添付書類には入ってください。

1:09:39	その通りでございます数量は使ってございますけど整理を作ったところでリアクターの冷却能力で説明するような、
1:09:51	準備してございます。それと、すみません、すいませんコサクですそうじゃなくて、説明すればいいんですけど、申請書なり説明の体系としては閉じ込め条文でやってくださいってことです。
1:10:07	条文でっていうあります閉じ込めに関する説明書の中で、まず入口をやって、
1:10:14	ていうことです。まずやってってか、申請書ではそうです。その説明を竜巻条文のところであわせて説明しますってのは構いません。
1:10:23	日本でしょう。うちの人間、結局は、影響評価をするために条件が加わった条文を自動要求が達成しないといけない条文と、
1:10:34	大分混同して整理をしちゃってるので、
1:10:37	それをちゃんと整理をした上で誰が説明責任を果たすべきだったのをちょっと入口を整理をして、はい。
1:10:43	お前じゃないぞっていう話。
1:10:47	コサクです。そんな意味では誰が説明されても構わないんですけど、申請書ではちゃんとこの条文の機能に関する説明はここですと。
1:10:57	体験をつけたわけなんで、
1:10:59	なのに影響与える側の方で書きましたんで、書いてあるからいいでしょうと言われても、それは後の人がトレーサビリティ取れないので、
1:11:07	ちゃんと書くべきところに書いてくださいねと。
1:11:11	ということです。
1:11:14	結局、その条文上の基準適合をその資料だから、その情報の資料の中でしっかり説明してくださいねという話であって、今閉じ込めとかのやつでいうと、
1:11:26	昔だったやつと同じですって言うところに関して、例えば別に整理場というふうなものがこういうふうに追加されたけど、評価条件としてはこれこれこうだから変わらないことを確認したっていう、それで終わる話とかだと思うんで、
1:11:39	その説明をまず竜巻時にやって、閉じ込めの状況、そこで構造の説明をつけようと思ってますよっていうよりもどっちで説明するかをわかりするんですけど、説明いますよっていうのとどう関連づけて説明しようとしてるから、

1:11:52	整理しといてくださいねっていうのが、知事名でよろしく願います。
1:11:57	はい。日本原電、コサクですそれで言うと、
1:12:05	00 シリーズに入ってくるわけじゃないですか。
1:12:10	閉じ込め、
1:12:12	の所、その条文立ててそれを書くのか、竜巻の 00－別紙 4 の中に入れるのか。
1:12:21	いう。
1:12:23	ことぐらいが直近で作業をどっちにしようかなって悩む。
1:12:27	話かなと思うんですけども、対側になるかな。
1:12:32	最終的にはきちんと閉じ込めの、
1:12:36	担うべきところは閉じ込めの 00 資料に納めるんですけども、フットワーク軽くやっていきたいので、竜巻の方にですね、今後これは、
1:12:47	教授小宮付けますという断りをかけつけてレッションを示すのかなと思いましたがけれども、日本西原です。特にこないだの審査会合で作った時に多分この後、ちゃんと整理しないとぐちゃぐちゃになるだろう。
1:13:01	と思ったのが、B の項目で、改造されが何の目的で改造したかっていうのと、影響する条文的機能である、いろいろ交錯するので、
1:13:12	そこは一度ちゃんと改造したものを上げた上で、その目的になって、危険の上部とあとその機能を改造することによって、影響する条文が何かっていうのを、
1:13:22	ちゃんとまずは一旦整理をした上でじゃあどこでどう説明する必要がありますかっていうことかなと思うので、まずそこをちゃんとやらせていただくのか、まずは必要かなと。
1:13:32	その前ためにはまず何を改造したかもしれ単発あげないと駄目なので、はい。
1:13:37	はい、わかりました。それは、
1:13:39	第 1 部の方でも話していい日数は整理なので、それをまず最初にやって、その上で、補足説明資料どうやるかと。
1:13:50	はい。いうことを提示されるということで、
1:14:01	成長。
1:14:03	さっきは最初何するかは認識はあったでよかったですね。

1:14:10	井上サカモリでございます一番最初にあったような資料を作って、またヒアリングをさせてもらっております。以上です。
1:14:21	長谷です。この次って、火災とかいった方がいいかそれも外部事象のセンターのやつの話。
1:14:29	古作です。もう一つ言うと、竜巻の方は共同評価があるので、そのヒアリングのやり方としては先ほど耐震で話をしたようなことを、
1:14:41	やらなきゃいけないという理解をしておいてもらいたいんですけど、ちゃんと耐震のところ聞いてました。
1:14:53	リョービの坂部でございます耐震パートも聞いておりました。
1:15:00	説明させていただきたいと思います以上です。はいコサクです。よろしくお願いします。
1:15:06	で、補足です。先ほどの館の質問で、外部衝撃の他の事象のはなしをした方がいいか、火災に移った方がいいかと。
1:15:15	いうところですけど、私は前者の方がいいなと思ってるんですが、
1:15:19	資料はないですけどいえることを言った方が、
1:15:23	よろしいですか。
1:15:27	これ、人数いっぱいいるから、誰かじゃお願いします。
1:15:32	すいませんちょっと他の事象がですね今日全員そろってるわけではないので、できれば河西の方がいいかなと思ったんですけども、以上です。蝦名さんすいません。
1:15:45	その間に読んでいただけるっていうことなのかしら。我々が聞いてますんで、やってください。
1:15:51	はい、三宅決得ですけども、聞けないメンバーですが、ちょっと最初の取っかかりのところで、
1:15:58	準備が、
1:15:59	ちょっと進めば、
1:16:02	ぜひここまで、
1:16:05	やっていただいて、事務局から取って、
1:16:07	はい。
1:16:08	はい。江藤社長、加治です。似たような類ということでは3に関しては、スタートでやることはもう同じで、むしろこいつは楽って失礼ですけども、やることは、大体もう決まっちゃってると思うので、

1:16:26	竜巻みながらでもいいですし、同時並行で水やっていただいて結構荷重とかの話でいいんで、他の事象を考慮する設備がいっぱいあって別に連続だろうがなんだろうが個別にはつくんですけど、
1:16:41	個別に聞きます。
1:16:43	それで終わりのようなやつが結構多いので、そのものに関しては先ほど異言ったことと同じだと思うんで、そちらを準備進めていただければと思うんですが以上です。
1:16:56	はい、野村です。火山については我々もそのような認識でございました。以上です。
1:17:05	古作です。
1:17:07	単品で言うとそうなんですけど、登場人物は結構同じものになるので、
1:17:14	何かわざわざ分けてやりますかっていう気もするんですけど、そのあたり何か考えてることがあります。
1:17:23	以上、日本原燃の伊奈です。
1:17:27	竜巻の方でも話があった通り最初に登場人物並べるときに、
1:17:33	先ほどちょっと外部火災っていうのが記載があったんですけど、社会についても同じようなものになると思ってますんで、同じに進める方が効率的というのは、ありがとうございました。以上です。
1:17:47	はい。りゅうぎん仁科ですちょっと私もその方がいいと思ってたのはその条文条文でやるのが当然みんなわかった上で、その構造を見たときに、こういうところをちゃんと説明してくれないと困るよっていうのが多分出るはずなんで、
1:18:00	そういう意味で位置付けに変えちゃいけないけど、関連する条文の方全部集まって、こちらで説明した方がいいと思ってました。
1:18:08	はい。コサクですわかりました。少なくとも竜巻火山は、京都が情報等も出てくるということもあるんで、
1:18:16	まず、登場人物の説明なんかは一緒にやって、
1:18:20	評価方法とかでは、時々別でやることもあるかもしれませんが、なるべく連携をとってやる。はい。
1:18:32	衛藤谷です。
1:18:34	次は、外部火災っていうか他のやつはちょっと資料の 10 ページある会合資料ですね、会合資料の 11 ページ資料 1 の 11 ページを見ながらという、

1:18:45	2 番目からもう、牧田谷津後だと思いますけど、
1:18:49	重たいという再度課題に関して、
1:18:52	元はこちらの担当しておられないです。
1:18:57	はい。スウェイ等、外部火災にはちょっと今日は不在になってございます。
1:19:05	なっております。以上です。
1:19:08	以上です。提供いいですけど、一応、
1:19:14	この表上で、月初と風間なんか一つの過激にいくような気がしつつ、田井深田
1:19:25	答えてもらい、外部火災は一部火災ははい。
1:19:29	これ、横に直下山と一緒に並ぶような形でここに来てるんですけど、何か関連づけて説明しようとしてるかそれとも、
1:19:38	固有の考え方を整理してるわけです。もう 1 回である程度なんかもやってきてるものではあると思います。はい。人間と一緒にする外部火災特にそうです。おっしゃっていただいてる通りで、
1:19:51	モックやテスト第 1 回の最初にも合わせるとある程度のことは、方針も含めてやっていると思ってるので、どちらかという個別の結果の話をやれば済んでしまうのかなと思ってました。
1:20:05	なんで入れるみたいです。今、郡で第 1 回で、分類に全部、
1:20:10	説明してると思ってるのでその中に新しい設備新しい設備という加瀬申請する施設が行くっていうことを、
1:20:19	ご説明する予定で考えてございました。以上です。
1:20:25	古作です。
1:20:27	認識はあまりずれてはいないんですけど、
1:20:31	等、建屋内のものは建屋、
1:20:36	話でしかないんで、
1:20:38	それは、
1:20:39	M O X でやってて、屋外施設に着いて、冷却塔ワー体回復、
1:20:47	を設置しますっていうことで対応しているんですけど、
1:20:50	そうじゃないものっていうのがある。
1:20:53	じゃないかなと思うんですけど、例えば飛来物防版の中だと、
1:21:00	はどういう扱いになってます。
1:21:12	民間でございます。

1:21:14	みたいな事故火力のギャップの関係についての配管の対策ですけども、そちらについては
1:21:21	その機能の考えとそれと全周を持っておりますましてそちらの方に東端とすることも一つのそいつは冷却塔理由でちょうどあと遮熱板の役割。
1:21:32	タカハシの移行するというふうにしております。以上です。
1:21:37	コサクですわかりました。それはあれですかね遮熱板登録するってことなんですかね。
1:21:43	5 番、出してます。
1:21:46	ネッツ番とええんじゃないのかなと思うんですっていうような、というふうに今考えておりました。それで、す。
1:22:03	これ自体に持たせないと救急っていう話もあるんで、
1:22:08	できればそこにいつ、逃げるのかと思っております。以上です。
1:22:13	古作です。使用表として別途また書くっていう必要はないとは思いつつですね、基本設計方針で明確にするとか、少なくとも被覆としては、
1:22:24	宣言をしなきゃいけない。
1:22:28	それがその仕様表に竜巻防護 5 番としてのところに入れるということでもいいのかとか、
1:22:37	そういったところろの整理はできてます。
1:22:42	日本の段階でございます。
1:22:45	今指標自体の方に江藤高木候補母数の記載が記憶はしているんですけども、すいませんちょっとちょっと事実は確認をいたします。基本設計方針上は、第 2 に来ると、防護対策として遮熱板または
1:23:03	耐火塗装を施すって書いて、耐火倉庫の下に何だかんだって売り方とか、
1:23:09	ありますよねあれが仕様書に来ると、中学校も含めて確か第 1 回の場合は、
1:23:13	僕あの車別盤自体の話の設計と、耐火塗装としての使用が何ミリって、
1:23:20	書かれていたあれが、確か第 2 回に来ると 5 番そのものに対して、耐火被覆をしますよっていうのが、
1:23:26	そんな仕様表共通どこで書いてたかって気はないですけど、多分出てきてる羽田と記憶してます。
1:23:33	はい。ちょっと私もそこまで見きれてないので、確認しておいていただいて、外部火災のヒアリング時でもまた、

1:23:44	話を目的にしていなければ、
1:23:53	これはですね、そういったところで第1回では議論しきれてなかったようなところが若干ありそうなので、そこら辺も抜け漏れがないように、
1:24:04	整理をして、ヒアリングに臨んでいただければと。
1:24:08	以上です。
1:24:10	はい、南エネルギーがです。そうしました。
1:24:15	整理して、
1:24:16	ヒアリングしたいと思います。以上です。
1:24:23	成長サイエンス、外部事象の絡みという意味でいうと、
1:24:28	当資料1の11ページの右側に書いてですね、そのファイルであるとか個別にそれぞれ、という気がしているんですけど。
1:24:36	例えば航空機とかって、2課でちゃんと占めてるところって何でしたっけ、許可との関係とかを確認しようと思ってるので、
1:24:45	左のやつに比べれば右側って古藤だと思うんですけど、右側県庁がある基盤するので、
1:24:53	全体のスケジュールされる中で、先頭を走ってるやつで資料作ってる期間とかもいろいろ出てきたりすると思って全体体系としていつ何をしようとしてるのかっていうところ。
1:25:03	湯川。
1:25:05	変更がないって言ってるやつとその左まで分けてるかもしれないけど、
1:25:09	変更ないで、さっき言った通り、変更しないと書いたりするので、そのあたりも含めていただき
1:25:19	はい。
1:25:20	はい、承知しました。はい。はい。
1:25:24	資料1の方の21ページだったら22ページだったりわー既認可から変更がないことを合理的にとか、同じ設計方法であることってなってるんですけど、
1:25:38	今のタジリの話とちょっと違うような、
1:25:41	或いはしているので、
1:25:45	タジリといったような認識で進めていただければというところです。22ページの落雷もう平石の接岸案内を第1回の上に少し議論したと。
1:25:58	はい。思うので、それを踏まえて具体どういう設計になっているのかと、いうことを説明いただくんだと思ってたんですけど。



1:26:07	私の認識はいいでしょう。
1:26:10	うん連盟エビナです。藤さんおっしゃった認識の方で舞台の設計がどうなってるかというのは、説明する必要があるというふうに考えてございます。以上です。
1:26:25	はい、五藤ですよろしくお願いします。
1:26:28	そういった辺り、今の関連性のあるところとそれぞれ適宜やっていけばいいことというのがあって、そのあたりのスケジュール感っていうのは、
1:26:39	どうなりますか。
1:26:47	江田新保。
1:26:49	はい。はい。いつからやるんです。すいません、蛭名です。今、とりあえず、提出日という形で補足説明資料の方は出してるんですが、具体的にちょっとスケジュール感というのが、
1:27:06	ちょっと水間に切ってないので、ちょっとそこは考え、
1:27:11	思います。
1:27:12	何ですかね。はい。
1:27:15	説明関係も含め、伺いたいと思います。以上です。
1:27:21	はい。補足ですよろしくお願いします。特に竜巻加算で登場人物と言ってたやつが耐震側との関係で早くやんなきゃいけないことだったりすると思うんで、
1:27:33	スケジュールをまずしっかりと作るで、それ以外については、大枠としてこういう項目をこういう感じでありますとかっていうぐらい言ってくれば、
1:27:44	まず、
1:27:45	今月の会合では話ができると思いますので、よろしくお願いします。
1:27:53	年齢みたい。まずそこは、そういう意味では急いでというかまずそこから優先して考えて、
1:27:59	示していきたいと思います。以上です。
1:28:06	はい。院長、梶です。
1:28:08	3 ページは、3 ページで言えば、外部事象とかまで置かなければ、5904 ページですけど 4 ページ。
1:28:16	赤井吉田さん。はい。河津です。はい。
1:28:23	はい。

1:28:24	はい。はい。
1:28:27	志田でございます。
1:28:29	火災については4ページ目に、4ページの5ページ目と2ページで記載してございますが、流れとしては、当年度口ありうる5が対象の選定独自性、
1:28:41	あとは生保主幹紹介評議員、吉井さんの意見がないように見えるんですけども、左上のところですね、対象設備の選定とそれに伴う区域区画、設定しないことには話が進みませんので、まずこちらについて
1:29:00	強調させていただきたいと思います。安江ところについてはですね、第二グループということで東洋建設江藤統括物がですね、
1:29:10	全部直の中でそこから選ぶんですけども、
1:29:14	読み方をやってみせる影響受けるものとしてやるもので、イ、ロ区域の設定の仕方についてはですね第1回の段階でもですねトピックスの増えて考えたい。江藤。主に説明させていただいておりますので、基本的には
1:29:31	結果を示すような内容になるかと考えております。
1:29:35	すごいですね。
1:29:38	区域がですね選定結果、
1:29:41	そこからはそれぞれですねばれるがらに対する発生防止対策、校風というところの調べたりますので、とっさに置いておくところって、
1:29:51	都丸側の感知消火とフローでいきますと、すみません、古作です。
1:29:58	江田さん資料の説明はいらないので、
1:30:02	どうするつもりですかということだけ端的に説明してください。
1:30:07	すみません、訂正します。目がきましては左下のところですね、不燃難燃材料の使用というところで、すみません、皆さんわかってくれないようなもの御説明いいです。
1:30:24	衛藤清庄野谷です。すみません、清町の加地です。
1:30:30	河西に関しては倍増して資料1、1から2の方のところ、24ページとかにこれもされてるんですけど、
1:30:40	結局何がポイントっていうところをまずしっかり押さえたいと思っていて、先ほどおっしゃられたような対象設備とか火災区域の話っていうのは、確かにスタートなんで重要ではあるんですけど、

1:30:52	安全であるとか女性部を代表するやつの場所さえあれば、区域、多分決まっててしまうんで、
1:30:58	設定自体はそんな時間はかからないと思ってます。
1:31:02	いえ、結局のところ、笠井に置いて、8000 本近くしょうか営業経験はそれぞれ見なきゃいけないんですけど、発生防止に関しては、基本的に既認可がしっかりやってるところもあるのでここもうたっていけるかなと思ってのんですけど。
1:31:17	感知消火、あの二つをまた営業経験、一つ最後谷津営業所さん含めに関してちょっとそれぞれちょっと確認したいところがあって、感知消火に関しては、
1:31:27	異なる種類をつけるというので、それぞれつけますよっていうやつに関しては、アナログ式二つともつけるようなやつに関してはちゃんとつけてねっていう、後で簡単な確認できると思ってるんですけど。
1:31:39	ちょっと特殊な関係をしようとしてるところに関しては、それで管理できるっていう説明をしっかりと聞かなければいけないと思っていて、これなんで先行っていう話をしてるかっていうと、
1:31:51	茂呂ふやさなければいけない可能性がちょっとあると思っていて、特に感知器に関しては、第 1 回の時も最後の方で出てくる形になったんですけど、
1:32:00	今例えばこの間現地行ったときに、固化セルの中とか、参事の話見たんですけど、空欄とこの温度計で見ると言ってるやつとか、結構数少ないのあれで本当に 100%
1:32:14	要は 2 種類のうちの片方の役割になるのかとか説明早目に聞かないと、本当にこの数で大丈夫できるんだけど数増えちゃうので、そういったところの
1:32:24	要は、通常通りに設置できないところの感知器の話とかをまずしっかり説明いただきたいっていうのが、要は性能として十分なら僕の説明しっかりしていただきたいという話と、
1:32:35	で、商品の方は、
1:32:37	こっちに関しては、聞かなきゃいけないことは、それぞれあんだ思ってるんですけど、原本を取りながらやっというてもらえれば、そこまでにならないかなと実はちょっと期待しています。

1:32:48	特殊なものがあればぐらいの話だと思ってます。ただ、影響評価の方の話に関しては、今申請書を見る限りやつを、フクイ企画ことに関してどう評価しますよ、L/Dでやりますよとかいろいろ書かれてるところではあるんですけど、
1:33:04	結局、その結果と、当たり障りない本当の方針みたいのだけ書かれてるので、どういう考え方かって言うところのところの具体をもうちょっと補足しながら、後々説明書についてもらうんですけど、
1:33:18	そういったところの説明を先に受けといた方が安全かなというふうに思っているんで屋根評価の数が多いので、やり直すと言った措置が対象なんだよ、やり直さなきゃいけないというのは大丈夫なことをちょっと確認しておきたいという意味で、その感知消火と影響経験、特にあの評価方法のところ、
1:33:35	どうやってまとめて説明して、
1:33:39	早めに方針を聞きたいと思ってるんですけど、ここらって準備に時間がかかります。
1:33:48	吉田でございます。
1:33:51	サービスシステム課の方ではですね、このページの真ん中のようなところに、他社に書いてございます対象とするものとですねそれから考え方というのは頭出しすることで考えております。すいません。
1:34:06	ですね東北については1月中にですねご説明を出した上でご説明をすることを現在考えておりました。
1:34:18	ついても、私さんおっしゃったように、いろいろとDTSを使ったようなところで少しですね活動の方でも
1:34:28	クレーム時代の風化とかで使って、こういうことになってるんですけども、これ、こういう考え方というのは、記載してます。説明資料についての説明を考えておって、
1:34:43	こちらについてもですねちょっとここはすいません、1月を目標に頑張っているようですけども、
1:34:52	数そこからですね目標にですね、テストをさせて議論させていただきたいと考えております。すいません、議長といいです。
1:35:02	そういった意味で言うと今ここで4ページ5ページのところで、当然病院からやっていただくというのは重要だと思ってるんですけど、どれをいつまでに示してもらえるかもちょっと福田伊井。

1:35:14	消そうが相互に発見するという話をされたりとか、単にマンパワーの関係でやりたいって話をされているところがちょっとわかりにくかったので、研究評価最後のやつはそれぞれの達成がそろわないとできないしろ。
1:35:28	長谷星パッチ評価営業権はそれぞれ独立で準備できるじゃないかとかいろいろ思うところがあるので、先ほどこちらが早めに確認するとか安全かなというところを少しお伝えさせていただいたので、
1:35:39	そこは前田上に埋め踏まえた上で、どれをいつ頃説明しようとしてるのかっていうところをまとめていただきたいんですけど、そこってどれぐらい出てきました。
1:35:52	はい。
1:35:53	辨野内田でございます。うん。ですね。
1:35:57	まず、どれくらいで、その年は発語しかない。
1:36:08	高騰してたので少しスケジュールを考えて駄目ですので少し検討期間をいただきたいんですけども、どういう形で受け継がせますというのは来週中にはですね統一をお示ししたいと思います。
1:36:24	規制庁谷です発生防止をやるんだという話じゃないんですけど、8005 cで論点となり得るものがあるんだったら、ちょっと言っていただきたいんですけど。
1:36:34	幅を掛けないところがあって、断念する範囲とか、ブロックの話だしよとかってあるんですけど、
1:36:41	どれをやるかっていうところで、準備できたものからやって、最初実は思って、そいつだけで1点出てきて時間かかりましたっていうふうにはならないように、
1:36:52	先行例を見ながら、数が多いっていうのは置いとくとして、ここって高瀬校で見たことない話説明しなきゃいけないだろうなっていうところはあると思うので、
1:37:03	そういったところを、重点的にまずこの洗い出しましたよっていうところも含めて最初に言っていただければ、どれぐらい先々時間かかるのかなっていう見積もりがしやすいかなと思うんでその点よろしく願います。
1:37:16	津田でございます。ますが、選定の考え方を、

1:37:30	ですねお話紹介につなげた方がいいと思いますので、ちょっとまず発生防止を置いておきつつ、感知の方を先に出すように、
1:37:42	リスクしようと思います際にですね、
1:37:47	ずっとばーっと並べてもう、あまり意味がないと思いますので、この勝のところの一番下のところの何書いてますけどもおっきく全然すると。
1:37:57	じゃないと、プラント、
1:38:01	暗いっていうぐらいの
1:38:04	そうですねどういうふうに分けますので、定着とは第一グループでご説明した内容と重複しますので、それぞれ建屋、屋外と同等の代表みたいな形で資料をお示しすることで、
1:38:17	早めるできるかと思いますがそういった形で考えたいと思います。日本原燃車チダチダさん。
1:38:27	石原です。それ、分類学してもさ、谷井さんがさっきあってちゃんとつけるやつ、普通の考え方で、普通につけるやんで、
1:38:35	逆にイレギュラー品がいるんでしょ、多分。
1:38:39	それをちゃんとピックアップして説明をしとかないといけないんじゃないの。先に。
1:38:45	表現のチダでございます。
1:38:47	おっしゃる通りですね今ちょっと私の説明はつけるところだけご説明してたのでつけないところについても、
1:38:57	うん。すいません。規制庁の滝井ですけどひっぱ規制庁のタジリなんですけど、ちょっと説明が足りなかったので一応説明なんですけどパンチに関しては異なる2種類つけましょうという話になっていて、
1:39:14	アナログ2種類つけますよっていう話だったら別にそうなんですよ。できまして、例えば屋外に関して言うと、連絡等でもやってますし、先行例もありますしで終わりますし、
1:39:27	空間広いところっていうのも多分先行例と似たようなのがあってあとは実験結果駐車終わりでしょうみたいなところあるんですけど、そこに当てはまらいい感知器の感知器と呼ぶかよくわからないやつで説明しようとしてるところの元であると思っているので、
1:39:41	ただそういうやつて、性能がいかほどかっていうの考え方ちゃんと説明してもらわないと、他のタイミングと一緒にちゃんとサポートしますっ

	ていうところで終わってるんですけど、そこんところがちょっとあやしいと思っているので、
1:39:54	最低限或いは白で終わるやつを、終わらないやつがいる気がするので、後者になり得るやつ、今まで先行で了解られるようなやつじゃないやつに関しては、
1:40:04	早めに準備して欲しいなというのが趣旨です。
1:40:08	はい、持田でございます。不足しました。いろいろ使うところとかかです。ね。そういったところの資料を先行して準備したいと思います。
1:40:19	はい。規制庁丹治です。一応他のパターン非常に長言ときますけど、火災は許可の時から関連審査基準に乗せながら全体の体系アンケートもできちゃってるので、いきなり具体的なところを攻めに行ってますけど普通は旧唐木金はちょっと課題特殊だったんで、
1:40:35	早めに引いた方が重要なところを教えてくださいってのも今、言わせていただきました。以上です。
1:40:40	古作です。
1:40:42	上流から億劫必要があるのは、
1:40:47	まだ条文として説明していないと。
1:40:51	で、火災は第1回、或いはボックスです。すでに方針は審査済み。
1:41:00	なので、
1:41:02	残りの具体をという古藤だと思います。その点では先ほどの竜巻とかも同じで、すでに審査済みだから具体の設備を、
1:41:12	いう話をしているので、その点では間違いのないよう、
1:41:17	ということです。で、さかのぼって言うと、耐震の方も、S Aの耐震っていう意味では最初には
1:41:27	今回入ってくるということではありますけど、MOXで実績を組んでいて、それと基本同じように、
1:41:35	ということの中、1.2 S sで若干、大丈夫ですかみたいなところがあるので話をしましょうねと。
1:41:42	いうところだったと、いうふうに思ってます。
1:41:52	大分はそんな感じで、他も含めてやってもらえばいいんですけど、ちょっと
1:41:57	資料3をつけ、野瀬資料提出のスケジュール見ると、
1:42:01	笠井高校だけ何か資料番号のつけ方が他と違うんですけど、

1:42:06	これって何ですか。
1:42:08	成長梶です。多分これは、ほぼ 01 の中に全部ひっくるめて一つの物作ってしまって、先方に 0 になってその中で、小項目でいちいち名前つけてるんで実際、
1:42:21	それが 1-01 から何が起きてるやつが、01 の中に全部まとめて一つに入れちゃってるからそんな前なのかなと思いましたけどそんな感じです。
1:42:31	入園者でその通りでございます。あれです。
1:42:35	これはもう共通。
1:42:38	共通というのは 00 シリーズの別紙 5 で、最終的にやりますって宣言した合体させてパッケージするやつを、唯一やったのがすみません実績としては笠井だけが、
1:42:49	だけど先行してやるやり過ぎて、他とフェーズが変わってないというか、他は本当他のやつを本当はそういう合体版にしなきゃいけないのが全然追いつかなかっただけ。
1:42:59	わかりました。今後は順次、はい。
1:43:05	34 回です。で、一方
1:43:08	先ほど藺田知事がまず第 1 にと言ったやつが 3-1 っていうことらしいんですけど、
1:43:15	3-1 の書き方で、この 3-1 の項目の内容で、
1:43:20	タジリを求めたものが全部包含されるとは思えなくて、
1:43:25	大丈夫ですかっていう気がするんですけど。
1:43:29	うん。はい。
1:43:30	成長されるそう言ってみると、実用炉の方から名前があるんですけど、この選定方針っていうのは確か広くて、何かいろいろこの中に無理パターン。
1:43:40	割安だったと認識してきたきっとここにつくんじゃないかなと思ったんですけど違いました。
1:43:51	どうぞ世良さん、どうぞ。はい。
1:43:53	すいません。産地はですね確か、
1:44:00	どんな感じをどこにつけるかっていう、図面で説明したものと、あとは阿蘇ですね中国適用じゃないようなものを使って、機器を使うとする



1:44:13	性能試験結果を示すことをですね、ちょっと間そういう資料構成になっております。ちょっとPさんから先ほどご指摘あったところですね
1:44:27	そうですね、今の資料の中にはですねちょっと、はい。
1:44:31	誰。なくて、政調会です。すごく良いですか。でもいい。はい。
1:44:40	古作です。
1:44:42	心配した通りだな。わかりました。手にとられずにですね、粹ここでやりますと言ったんであればその中にしっかり入れ込んでいただければいいと。
1:44:53	いうことなんですけど、感知器の話でいうと、実用炉の方はすったもんだがあったわけですね。これ、
1:45:01	要求事項に合致しない。
1:45:04	設置認可を進めてしまったっていうようなことがあって、さらなるバックフィットみたいな話になったところもあるのD、そういったところの経験もちゃんと反映して、
1:45:17	しっかりとした説明をし、機能としてまずくるんだと。
1:45:21	ということがわかる資料にしてください。そうすると、実用になっていたのでは足りないっていうところが多分出てくると思うんで、その点も認識をして作業を進めてもらえればと思います。
1:45:35	契約者でございます消費者のですね、ちょっとそこはいけないところだと思いますので、追加したいと思います。
1:45:47	はい。コサクですもう1点タジリの方は心配してたのか心配してるかちょっと若干あれですけど
1:45:54	影響評価、
1:45:58	スケジュールがまだ提出して出てないっていうところもやっぱり心配なんだろうと思うんですけど。
1:46:06	区画の方はそんなに心配ないと言われてましたけど、私としてはですね、どう説明するのかなというのがちょっと心配をしまして、
1:46:16	っていうのは、安重の防護対象設備がどこにあるのか、どういうのを束ねて統合するつもりなのか、或いは、何つうか、分離させるのかという、
1:46:28	ことのご思想は、
1:46:30	この後の溢水とかと変わらないんじゃないのかなという気がしていて、

1:46:36	それをまとめて説明した方が合理的じゃないですかっていう気もしたんですけど、その辺り何か考えてるんですか。
1:46:46	はい。
1:46:47	弓削西原でございますはい。と書いてもらった時に４ページとかに、さ らっと何か１２条と関係とかって、
1:46:56	一番上から２番目の四角のところですかね、書いてますけど書いてもら ってはいるんですけど、おっしゃっていただいてる区画そのものをどう いうふうに設定するかってよりも、
1:47:06	区画の園芸のところの考え方とかいう整理をちゃんとしなないといけなく てかつ、区画の壁なり天井なりに対して要求事項何がありますかみたい なものを整理しないといけないので、
1:47:17	そういうのは火災水化学薬品含めて、防護対象としての区切りをどうや って選定しますかみたいなことを、同じように合わせて整理ができるか なと思ってました。
1:47:30	はい、高坂です。わかりました。
1:47:32	資料２の中で、その辺りは若干、
1:47:37	考えて、
1:47:38	ということのようなので、ヒアリングのスケジュールとしてそこら辺明確 にしていってもらえればと思います。で、その際ですね、単に価格とい うだけだと何かもったいないので、
1:47:52	営業評価の入口というところだと思いますから、そういった全体像を示 す中でのパート、
1:48:01	であるということ。
1:48:05	は意識して組んでもらってと、また影響評価は影響評価でになっちゃう とまたやり直しになっちゃうんで、その点も気をつけていただければ と。
1:48:18	はい。で、ただ区画の先はですね、可燃物がどこにあるのかっていうの と一緒にいったんで、どんどん違ってくるので、そこワーそれぞれでや っていくということだと思いますけど。
1:48:30	して、はい。そ、
1:48:33	その
1:48:35	どこまでいかないと対象に持っていけないっていうところまでがあるか ら、そこまでをまずは、

1:48:40	スケジュール感をしっかり組んでもらうということだと思う。
1:48:44	よろしく。
1:48:45	はい。日本原燃石原でございます。
1:48:48	思ってることがそれぞれ多分みんな違って、想像も違うので言葉にして、紙に書いて共通認識を持とうと思いますけど、
1:48:56	私も考えたのは、例えば区画を貫通してるものとかをどうやって設計上何か考えてますかみたいな話が、急いでも関係するし、火災でも考えなきゃいけないしみたいのが出てるはずなので、
1:49:08	それがまさしく系統分離対策だったりいろんなものにまたフィードバックかかったりっていうのがあるのでそこも含めてちゃんと整理をして説明しておく必要があるという認識がありましたので、そこはあの、
1:49:18	説明する人間ちゃんと教えて話をして、整理をさせます。はい。
1:49:23	そうだと思います。で、さらにそれが評価でどう扱うからこうするんだっていうことも多分あると思うんで、そういったところもネットに説明されると、評価の時にしやすくなる。はい。
1:49:35	いうふうに思います。よろしくお願ひ
1:49:47	です。浅井までなければ次、
1:49:51	例年通ります。
1:49:55	言ってくれないところ。
1:49:58	はい。
1:49:59	ですね。
1:50:02	よろしいですか。お願いします。
1:50:07	はい。
1:50:08	篠崎です。
1:50:10	10 水とか夜勤 13 条 6 ページでございますけども、
1:50:14	これまで免許上げて議論を踏まえて、
1:50:18	委員長にしなきゃいけないってのは理解してますが、まずちょっと考え方をさ、ご説明させていただきます。
1:50:25	申請対象設備の整理というのがまずイの一番だというところにありますけども、それに加えて、溢水防護対象設備の設定って言ったのが、溢水、
1:50:36	金になりますので、

1:50:38	そこをまず固めたり、36 条かなというふうに岡安理事は言ってますけども、
1:50:44	これはみずから守るべきは扱ってないため、しっかり固めるといったのが一番だと思ってございまして、
1:50:51	それぞれ説明させていただこうと思っております。
1:50:54	今、先ほどありました通り、ちょっと下サイトの方に、今の価格設定です。
1:51:01	その価格の設定においてはそのあとの溢水影響評価にどう説明するかってところをしないでというところがございしますので、ちょっとどういう単位でスタートを切るかっていうのはちょっと検討させていただきます。
1:51:14	ちょっと工夫が必要なのは、最終的な水質影響評価左下にございすけども、
1:51:20	椅子営業評価の条件から、直接行くにもございまして、
1:51:25	質疑に決めるためにしずぎんから除外する、機器の耐震評価みたいなことが必要な水を設備見せ、
1:51:33	あとは要するに水路等の問題につける緊急遮断弁とかですねそういった溢水対策設備の設計、
1:51:40	これは全全部踏まえて最終的に溢水影響評価といったところになりますので、評価に必要な情報といったのは、
1:51:50	それを説明した上で最終的に請求評価に行くと、コアプレスするのか、
1:51:55	それぞれ田井新聞の方もありますので、どっかのスケジュールを見ながら、順番とか、
1:52:02	整理させていただきたいと思っております。
1:52:05	最後に、下から、
1:52:07	2 点訂正が上がってるとございすけれども、今の問題からちょっとそういうところを目指して、
1:52:14	堰の設計なんかはですね溢水量対策設備の堰の設置なんかは、
1:52:19	溢水影響週間の結果、
1:52:23	グループによって設計されるところございす。時期高さですとか、強度評価に使う条件ですね。
1:52:29	なので、
1:52:30	きちっと説明していかなくちゃいけないかといったところ。

1:52:33	工夫してスケジュールを組まさせていただこうと思ってます。
1:52:37	全体的に分けて書いてますけれども、必須と共通するとございます。
1:52:43	ですので、基本的に制約は、
1:52:45	共通のところは一緒に説明していきたいと思ってございます。それ簡単ですけど以上です。
1:52:52	変遷がよくわからない。
1:52:54	古作です。
1:52:56	点線の話は、第一課で大分議論をして、
1:53:01	そもそも影響評価がないと評価ができないというのは第1回で認可ができないので、まずは暫定でもいいので、確証を持ったところ
1:53:14	持たせますと制限をして、認可を受けてくださいと。
1:53:18	いうことにしてあるので、若干説明が違ったかなというふうに思います。一方で、最終的にはその堰の高さっていうのか、評価上、満足してるよねと。
1:53:30	いや、確認は取るので、そのことをこの点線で表してるんだと、いうふうに理解をしましたけどそれでいいですか。
1:53:39	上西だけ失礼いたしましたそれ、そういうことでございます。
1:53:44	はい、曽田です。もう1点、言っておくと、
1:53:48	私ワー私のイメージは溢水、化学薬品のこの6ページの方がいいなと思って、やはり最初にその選定があったり、評価の条件みたいなことがないと、
1:54:01	どう、設計最終的にするのかっていうのわからないので、これでいいと思ってますんで、
1:54:08	なぜこういう言い方するかっていうと、その前の葛西の4ページ5ページっていうのが余りにもバラバラとしてて、関係性がわかんねえなど。
1:54:17	思って先ほどの話になったということで、
1:54:22	基本構造一緒だと思うんで、同じように書いてもらったらいいかなと思いますし、その上で、連携するところが練習するという形で、
1:54:32	整理を進めてください。
1:54:35	私から言うと、すいません。
1:54:37	成長と自立全般としての認識なんですけど、溢水は少し特殊で、確かに先方でお配りの連絡をやってるし、ボックスやってる定義になってるんですけど、

1:54:49	建屋内の評価っていうと、真面目に聞いてきてないので、こうだって、こいつは取りかえたほうがいいと思ってるんですね。1 制限の話とか、防護対象の話もこれは田坂編とかあったりして、いろいろ説明しないとイケないところあるとは思ってるので、
1:55:06	最近あって説明していこうとされてると思うので、
1:55:11	ちょっと補足資料の説明とか見るとまた 1 月末とかで何かいまいどこのタイミング大切にしようとしてるかわからんですけど、どのタイミングで何を示していくのかっていうところもちょっと教えてもらおうと思う。
1:55:24	話が進みやすいんじゃないかなと。それぐらいまでに意識が下がるかもわかりやすい気がするので、その制度の準備をよろしくお願いします。
1:55:35	はい。藤村でございます。
1:55:38	八木さんおっしゃった通り、先ほどありましたように、一通り終わってるものと新規で説明しなきゃいけないものも、
1:55:46	以西薬品は後者だと思ってございまして、第一グループでは概略評価ってのやってますけれども、
1:55:51	制度評価本年度は全くございませんので、フローにある、それから二つ目の四角、
1:55:57	影響評価の方法というところ、しっかり市場に説明していく必要があると思ってございます。
1:56:02	すいませんちょっとスケジュールという形で申し訳ないんですが、
1:56:06	この間の前説明資料で、これで説明しますと言った内容がですね。
1:56:11	一応この順番で、1 月末に、1 月中に全部出すという目標を受けるので全部なっちゃってますけれども、
1:56:19	補足説明資料の導入なんかを説明していくといったのは、社内でも整理してございますので、ちょっと見えるようにしていきたいと思います。以上です。すでに行っているということから、
1:56:29	コサクです。
1:56:31	目の前の、
1:56:34	瀬川さん、右田さんも%したかを伝えてましたけど、社内で整理されてるんだったら資料を出してくださいよ、いうことでしかなくていいですか、止めてください。
1:56:46	いう古藤ですけど、

1:56:50	何て言うんすかね。
1:56:52	河本は、申請するからには社内でちゃんとした検討があって、その検討を出せばいいのだから一式そろえて補足説明も出せますよねと。
1:57:05	いう。
1:57:06	ことが大前提にあってずっと2年間話をしてくて、今回の申請があると。
1:57:11	ということなんですけど、
1:57:14	実態は、うすうすは感じてましたけど、社内で検討なんてまともにはしなくて、
1:57:19	メーカーDのものを信用して流して申請したということで、補足説明資料を作るような勉強はまだできてないってということなんですよね。
1:57:30	新開です。すいません言葉を香山りました書きました。してきましたというわけではなくて、
1:57:37	1月中旬に申請するというので、スケジュール上は全部補足する説明資料が並んでるんですけども、その中でもともと補足説明資料が、
1:57:47	説明するのに必要だといった整理ができていう、でございました。
1:57:52	ございません。
1:57:53	わからなく、
1:57:58	おそらくですねすいません
1:58:01	もう作らない。はい。はい。すいません。はい。はい。
1:58:07	ないと、そうだな
1:58:12	資料2の方の溢水の製品を褒めたのに、
1:58:17	資料の方に入っていた話がおかしくなっちゃいましたけど、
1:58:23	何だろう。
1:58:26	どの説明が重要か早くした方がいいかが整理できて、やっぱりそれはそれで書けばいいかっていうことでしかないんですけど。
1:58:35	一方でその第1部の方で話したように、まず上流の、
1:58:39	防護設備が何で防護対象設備が何で、それがどこにあって、どういうふうに区画して、
1:58:49	どうそれぞれその貫通部も含めて、機能を確認していくのか、若干その、その下の設備設計の方に入ってきているようなところまで含めてですね、話をまず一旦して、

1:59:01	関係性を整理をする、古物はルート、
1:59:05	いうところまでやるということが大事であって、このスケジュール上だと。
1:59:12	日数が一番で遅れてる。
1:59:14	ようになってるんですけど、
1:59:16	一緒にやってもらわないと、
1:59:19	全体として話ができないと。
1:59:21	いうことなんですけど、これは追従できるようにスケジュール組めるってことなんですか。
1:59:30	シノザキでございます。
1:59:32	そういったように、全体の説明の流れに合わせて、通じていくように、
1:59:39	をさせていただきます。
1:59:41	古作です。別に私前倒ししろと言っているわけではなくて、他のものを後ろ倒ししても別に構わないんですけど、しっかりとまとめて対応してください。
1:59:53	同じような説明を2度して、
1:59:55	結果他愛手直しが必要になって戻ってとかっていう往査をやめていただきたい。
2:00:01	ということなのでよろしくお願いします。その上1月中に何とかみたいにしてるんですけど、審査会合のことを考えると別に1月中に何とかっていう必要は全くなくて、
2:00:14	というのも、1月の審査会合ではないようについてを説明するつもりはないという、
2:00:20	今回資料になってるわけですから、実際の説明は2月になり、それも、
2:00:26	広角になる、心臓だったり何なり、
2:00:29	いうことでしかないので、今話をした部分さえ何とかヒアリングをしていけば、2月の会合には間に合う。
2:00:37	ということで、その他の個々の、具体的な設計内容だったり評価結果といったものは、3月以降でいいわけ。
2:00:47	そうすると、まず、2月までに説明し切りたいと。
2:00:53	御思うものに注力すれば、
2:00:56	ということなので、実際、
2:01:00	担当、



2:01:01	吟味した上で、補足説明資料をつくり上げるような吟味をした上で申請を、
2:01:08	しておいて欲しかったところでは立地も、説明がちゃんとできないということ自体がもう事実として諦めますので、
2:01:17	今後計画的に審査会合で説明をすると。
2:01:21	いう範囲においては、しっかりやっていく。
2:01:25	いうことで会合でまたやり直しというようなことにならない。
2:01:28	進めていただければというふうに思っています。
2:01:33	ということもあり、会合で何を説明し切るんだと。
2:01:37	いうところが大事になってくるんで、そのターゲットをしっかりと作って、対応いただきたい。
2:01:43	いうところです。で、大体何となく2月のイメージはついた。
2:01:47	感じはあるんですけど、
2:01:49	じゃあ3月はどこまで来ています4月はっていうところが、
2:01:53	この後考えてもらわなきゃいけないところかなというところです。すいませんちょっと途中でございます。
2:02:02	リースいい加減で終わってる。
2:02:04	今、現状、
2:02:09	それぞれできるかわからない。
2:02:15	先ほどあった通り表現2社ですけどそれぞれのペーパーの、どういう順番でっていうのを示した上で、いつごろその資料を出していったって、説明するんだってのを、この中で少なくともわかるようにした上で、
2:02:27	何でそれが同じ日なのかは、多分これとこれは関連して一緒に説明するから、同じタイミングなんですみたいなことが、スケジュールでもわかるようにさせていただきます。はい。
2:02:37	はい、どうぞよろしくお願いします。で、一方でその一斉第1回であんまり説明しないのと言われてましたけど、今日まで説明してるじゃないかと、ちょっと
2:02:48	なので、あまり0から云々と思わずにですね、もう少し、
2:02:54	気楽にして大変ですけど、率直に話をされた方がいいんじゃないかなというふうには思います。
2:03:03	すいません。規制庁、
2:03:05	資料2の溢水のページで、

2:03:12	被水防護設備の設計で6条にも、
2:03:16	して、これは除外する、BC、
2:03:20	その下の伊勢防護設備の設計で耐震強化で飛ばしてない水防護設備それ自体1機能8級営業に、
2:03:31	どちらかというに一斉の方針の中で、緊急遮断弁とか堰とか何とかをSSで、
2:03:38	冒頭維持しますみたいな、
2:03:41	話をしてるやつが多分これで飛んでるやつ。
2:03:44	そういうのは、はい。
2:03:47	おい。はい。
2:03:50	そのため、
2:03:52	強度評価っていいですけど、これって何でしたっけ、強度評価、私のちょっと整理した制度想定は、水圧がかかるんで、水圧に対してもつとかっていう評価を、
2:04:04	結局は分析評価するやつがたまった分だけ、どっか行ってしなきゃいけない。
2:04:11	いや、
2:04:12	何もできてないですけど。はい。私の入ってる。
2:04:18	関とか、
2:04:19	お父さん、防水扉とか、それが実ブースイトウかって壊れないよねと。
2:04:27	というのが、
2:04:29	対策立方メートル。
2:04:31	皆で結構、1の強度評価っていうようなことをやるという、
2:04:37	はい、成長管理ですね、一方で遮断弁とかは安重登録していて、それ自体が材料構造的な耐圧強化は、
2:04:47	ていうのでしょうか。
2:04:49	点数が今分かれてる。
2:04:51	はい、そうです。はい。
2:04:54	その辺はもうここまで来ないですよ。耐震、6月はある程度どんなものを飛んでくると。ないですね、何か。
2:05:06	急いだと。
2:05:09	破損想定をするときのターミナルエンドの表で、

2:05:14	何か、貫通クラックカー公園に入ったんですね、ずっと。
2:05:20	先週は、そもそも講演会がないのかもしれない。今日までなってないって聞いたような、もしあるんだってそういう話も、
2:05:28	聞ける。
2:05:30	はい。大丈夫。
2:05:32	無理だろう。
2:05:34	この場合、
2:05:35	それは何ですか、小口径だから。
2:05:38	合計も確か 40 とか 50 以下は、
2:05:42	大体難しい、なかったんです。
2:05:47	資料でございます。これに入っておりますのでっていうところから、
2:05:59	ご説明させていただくつもりです。
2:06:01	はい。店長それは、水で説明するつもり。
2:06:09	先ほど三谷さん。
2:06:13	ぐらいから貫通クラックを想定するかというのは、溢水防護設備の設計もでございます。線源から除外する機器の強度評価を配管といったところで説明させていただくつもりでございます。
2:06:25	規制庁からそうなると六条に飛んできてる。
2:06:29	いたかどうかを見てないんですけども、6 条は上、耐震評価、協力機関、
2:06:37	あれでも耐震のモデル使えませんでしたっけ、最新のモデル使って、圧力等云々なんか、8 がはね、それを念頭に入れたから、何か結局、
2:06:48	モデルを使いまわしますみたいな関係性になるような気もする。
2:06:55	はい。ちょっと整理をしてもらいたい。あと規制庁カミデですけども、もう 1 個
2:07:00	資料 3 の方に行くと、水の、
2:07:03	30 以降その耐震評価崖錐の番号とか取られてますから 32 とか、
2:07:10	この辺をどちらでどうやるのか、
2:07:15	タイトルわかるんで別に、
2:07:19	気にして見に行ってもいいんです。
2:07:21	なんだろう。
2:07:23	でも申請書としては多分 6 条は、
2:07:26	補足も同じ点検にしてもらいたい。

2:07:29	はい。はい。
2:07:32	整備する。これも多分3月、
2:07:36	なのかもしれない。
2:07:39	よろしくお願い
2:07:48	ですよ、先ほどお話しした。
2:07:53	改造理由になっている条文との営業譲渡って関係と同じようなことだと思うんで、それを踏まえて、取ってないと。
2:08:02	いうことを求めてもらったらいい。
2:08:18	いえ、ちょっとね、在庫とか、
2:08:21	ディズニー、
2:08:25	これですねそれでその代行だったりSAだったりの前2、それ以外の部分が幾つか、
2:08:33	あるんですけど、
2:08:35	避難通路だったり、
2:08:40	安重が抜けてますけど、
2:08:43	はい。
2:08:44	ああいうふうな、はい。はい。
2:08:48	この辺りわあ、第1回もある程度話をして、
2:08:52	というところが、
2:08:56	あるんですけど、具体の設備が出てくるということで、その展開を説明いただくと。
2:09:04	ということだろうなと。
2:09:07	思います。
2:09:10	で、どうするかっていう。
2:09:15	はい。さっきの、すいません先ほど田尻さんの端に寄ってる人たちも、多分軽重あるよね、成長全く考えずに、後ろの方にまた寄せていただける状態になってますね。はい。
2:09:28	資料自体は、00を出すように、
2:09:32	していたはずですけど、個別の補足も別の不足も踏み込んで一応出すっていう、
2:09:38	勘定間共助時、設計基準事故時の環境に本山さんやみたいなのところも、また新たな設備出て参りますので説明しなきゃいけませんし、案10102ですね。

2:09:53	設定は
2:09:55	内弾いなんてのは今回初めて出てくる
2:09:58	んで、
2:10:01	月末に何の戦略もなく、一瞬でますけれども、
2:10:06	はい。
2:10:07	はい。
2:10:08	あれですか。特にああいうの、ページだと、
2:10:14	2-1 で改造割の方は、
2:10:22	ああいう
2:10:24	改造はたくさんありますが、IU 要求で改造してるわけではないですけれども、
2:10:30	他のとばっちりで、はい。
2:10:32	安全冷却水系の接続を預けてますし、
2:10:36	先ほどの冷却塔を遮熱板つけたり、
2:10:39	何か言ったりっていう意味ではあります。わかりました。はい、細田です。それで言うとそういうところで回答があったところが、内部発生飛散物で影響しないかどうかという評価が追加で必要だという意味ですか。
2:10:55	そこそこまで、そこまで踏み込んだ整備をして、
2:11:15	内部発生飛散物。
2:11:17	要求としては明示的に佐野今回、今回、
2:11:21	場内休会なんで木場ないことの説明。
2:11:33	そこら辺をアップしてもらえばいい。はい、そうです。
2:11:36	はい。
2:11:39	いろいろもの入りましたとかってやつは保守側の地形だったらそれ変わっている。
2:11:43	管理するわけじゃないです。
2:11:46	はい。
2:11:47	急いで話をしないといけないっていう項目じゃないのは確かなんで、何で言ってるかっていうと、
2:11:55	先ほど第 1 部一緒ですけど、会合でちゃんと説明してくださいでしょ。
2:11:59	ということなんでどっかで具体説明してもらおうと、1 ページぐらい。

2:12:05	していただかなきゃいけないので、それを最初にするのか、あとですね、
2:12:10	はい。
2:12:11	いうことかな。
2:12:15	渡ですけど、経営者の居住性評価のDの方で、昔から概念を作りながらやってるっていう。
2:12:24	昔の評価は、ガイドにのっとった評価ではないですけど殿、DBOのガイドとFAの有効性の話宇宙線評価話種類たって、
2:12:38	フロアに目を合わせないっていう整備やっていて、最初にもその流れでいいのか。
2:12:44	それとも、
2:12:45	今、うちの参考と明日、DBの居住性評価あって、
2:12:51	委員会があって、
2:12:55	やって、
2:12:56	すみません私の勉強不足で、デービーは居住性評価用のガイドが、
2:13:02	どうぞ。
2:13:03	恥ずかしながら、今してしまったんですが、最優先評価って名前とかわかんないですけど、Bのガイドになります。ただちょっとちょ照合してみなきゃいけないんですけどもしっかり評価はしてます
2:13:15	もちろん、制御室に流れ込んでくるものみたいものからの求人をやりますし、あと、事故が起こってる場所からの外勤なんていうのも見てますし、
2:13:26	ただ、SAのガイドと比べると、地表沈着したやつからの影響とかですね五味なんですけど、そういう
2:13:35	営業のプロセス経路っていうのは考慮しないような定期評価になる。
2:13:40	ニーズやってるんだなっていうのはわかったんですけどちょっと、どういったものをやっていてで、
2:13:48	サポートするって書いてだけかもしれないけど、Bのガイドの数だったら全然気がするので、
2:13:56	整理してるかについてちょっと確認ができればと思うんで全然新しい話になるっていう雰囲気は今の、
2:14:01	高城池端ですけど。

2:14:04	なんか右田ガスがどうでもいいと思って、ただでしてあげてみると何か良いから撮影したってなると、
2:14:10	他にもそうなんすけど、
2:14:11	余りにも示してねっていうと思っているので、
2:14:16	さっきちょっと示した、
2:14:18	そのあたりは、
2:14:19	漏れがないんです。
2:14:21	はい。
2:14:25	補足です、前に制御室でいうと、誘導クラスで、対象条文、
2:14:31	はい。
2:14:33	その辺からも結局は、
2:14:36	評価し直しなんじゃないという。
2:14:39	感じはします。
2:15:11	ええ。
2:15:16	もう、
2:15:17	在庫とあと S A があるんですけど、
2:15:20	最高すいません正直
2:15:23	まだ、
2:15:24	ちゃんとした形になってるような気もしてないので、ちょっと今日の他の条文の議論を踏まえて、ちょっと組み立てをちゃんとさせていただきます。
2:15:34	S A の方は認識で全体、設備がどうなってるかっていうのをちゃんとまず押さえていかないと、
2:15:42	うん。そこには当然建屋の外の建屋の中も、あと、
2:15:48	設備間の関係とか S A と D B の軽油の話とか、全体の話を経絡的にまずはちゃんと説明せんとあかんかなと思ってるのが今、S A の状態です。
2:15:58	そういうのをまず最初のスタートとしてやらしていただこうかな。
2:16:04	はいちょっと櫛田に行くとどんどんどんどん
2:16:07	セガワさんの思いが入って細くなってますけど、最初のスタートはまずはいくことはこんなもん、まずやらないと思ってますけど、ちょっと全体がいろんなところに渡ってて、
2:16:18	説明が難しいような気もするんです。
2:16:21	どちらかって説明になりそうな気がしますけど、

2:16:24	古作です。
2:16:34	取ってなかったというか、そもそももうS Aの機能自体はもう許可でや ってるでしょうということに尽きるので、
2:16:42	どちらかっていうと、先ほどみたいにアクセスルートとか、
2:16:46	当該設備じゃない。はい。どこまで巻き込むんだと。はい。
2:16:51	いうことをはっきりしないと、
2:16:54	耐震なり溢水なりと、
2:16:56	いったところろうがないので、
2:16:59	そこに繋がる場所をまず最初しっかりやりましょうよっていう。
2:17:03	ことだと思います。
2:17:08	素行でいうと系統構成とかっていうのが入ってくる。はい。いうことで すし、環境状況も若干入ってくる。はい。
2:17:16	いうところだと思うんで、
2:17:20	の整理をしちゃえば、あとは、
2:17:27	設計な内数である設備設計は、設定根拠説明書なりをしっかりと読み込 んでいくということで、
2:17:36	思いますし、そのエビデンス等になったということを見ていけばいい ので、
2:17:42	進むんだらうと。
2:17:43	そこはあれかな。普通要領そうですね下の方ですね。はい。
2:17:53	多様性史跡分散法華経操作性試験。
2:17:56	検査とまとめて書かれてますけど、
2:18:02	結局わーその環境条件との関係があって、その分離するかどうかです ね、という話でこれ分けて書いてますけど、ある程度一体で話をした方 が、
2:18:13	いいこともあるんだと思うんです。はい。
2:18:17	衛藤。
2:18:19	添付書類だ等、
2:18:25	卵健全性説明書ですけどその子供に、
2:18:29	各重大事故T H A I設備竜巻とか4ナゴDBにつなげなきゃいけないの もあるので、
2:18:37	あれの中計の添付だったんですね、S A設備の設計条件、そこで環境条 件とかいろんなもの、細かい話が出て、



2:18:46	いるはずなので、その中で、
2:18:49	おっしゃっていただいたように多様性を持ってるとか位置的分散してるものは、
2:18:54	複数個あったとしても条件が例えば違うとか、いうのが明らかになってその説明になるのかな。
2:19:01	はい。せっかくそういう検討の方向性を考えて、ここでこれを説明しようと整理をしたの。
2:19:08	ですから、それーに合わせてまとめてもらったら、淡々と進むんじゃないか。
2:19:15	いうふうには思います。
2:19:17	まず、
2:19:18	あとは
2:19:23	この資料2というよりは資料1の方にもなりますけど、
2:19:27	36条38条から51条、非常にバックをまとめられたんですけど、
2:19:34	そんな綺麗綺麗で、同じように求められるわけがなく、の方に関連があるから、分けて説明するわけにはいきませんと。
2:19:43	いう意味ではその通りなんですけど、
2:19:45	であるならば39ページのところはこんなうまく書けるんすか。
2:19:51	いうふうにしか思えない。
2:19:55	いうところで、
2:19:56	これも添付書類の構成考えてもらったらいいと思うんですけど、まずはその重大事故が何ぞやと、それに応じて対策、
2:20:06	要求する機能、
2:20:08	いろんなものが出てきますっていうのが、38条から、
2:20:12	うん。はい。
2:20:14	はい。までと言うことで、それをサポートするために必要なものってのはそこからまた要求が出ていって、
2:20:24	それによって、それ以降の条文、
2:20:28	が構成されている。
2:20:31	いう。
2:20:33	ことなんで、
2:20:35	その
2:20:37	考えは整理をしておくべきだろうなというふうには思います。

2:20:42	で、一方で、そこまで含めて許可でやってるじゃない。
2:20:48	ということなんです。
2:20:51	であるならば、結局先ほど言ったように、それを踏まえて、
2:20:56	それぞれの求められる機能というのは、どういう分散なり、
2:21:02	配置をしているのかと。
2:21:05	それによって機能維持がこういう場にもこういうふう、
2:21:09	多分できますねと。
2:21:10	ということが具現化してますよという確認が取れ、
2:21:13	個数が見れる。
2:21:15	繋がるんだろう。
2:21:19	ます。
2:21:23	まだもうちょっと 8 ページ、資料 2 の 8 ページで言えばもうちょっとシンプル。
2:21:28	ないぞということだし、
2:21:32	資料 1 の 39 ページであれば、そういう視点からの分割をした方がいいだろうかと。
2:21:38	各中身をする。
2:21:39	はい。項目としてはあるんじゃない。
2:21:43	ということだと。
2:21:46	その二段階に分けたところで結局やるのは先ほど言ったようです。
2:21:50	配置云々ということで説明することは一緒。
2:21:53	ということではない。
2:21:56	その上で、制御室緊対については D B セットで、
2:22:04	やるべきことは一緒で、先ほどの調整とかもありますよと。
2:22:08	いうふうに、
2:22:09	つなげてもらわなきゃいけないくて、こうまとめられても、
2:22:13	ないことだ。
2:22:22	ステッピングとあれですよ。
2:22:23	計装とかも、実は単品でやられても、
2:22:27	はい。あれ、あれこそ困ると。
2:22:31	関係だったり、供試だったり、連携をとって、
2:22:34	はい。
2:22:35	話なので、

2:22:36	その点は有毒ガスの方でも話をしていたところで、
2:22:42	その点も意識、
2:22:52	大分できました。はい。
2:22:56	規制庁、
2:22:58	斉藤トガシましたけど、
2:23:00	S Aと在校の関係、説明基準とか、
2:23:08	外交は結局、D B条件。
2:23:12	衛生条件が伝わる部分が、評価として新たに見ていかなきゃいけない部分。
2:23:18	一斉環境。
2:23:20	議会どうなるんだと。
2:23:22	この説明はどういう環境にさらされるんだという説明が、やはり代行の前提にしていると思っており、
2:23:30	早く、
2:23:32	みたいな。
2:23:34	店長、今のは30 S Aの話ですね、S Aの話ができてから在庫の話をした
	い。
2:23:43	最高のとは言ってもう在庫って、
2:23:48	やり方は変わらないインプットバーとか何が入ってるっけ。はい。
2:23:56	それはそれでやっても、結果にする。
2:24:00	加賀山県の話は、
2:24:04	耐震等級と一緒にでも出てなくても評価方法は話できるでしょっていうことじゃない。
2:24:12	で、中間ヒアリング的な進め方はまあそんなふうに進められそうな気もするんですけど一方で、じゃあ会合をどうすんだっていう話で、
2:24:23	うん、耐震の場合は割と耐震一本で、一つの議題になっつ在庫はじゃあ、在庫としてやるのかって言ったらS Aとの差でシナリオチェック、繋がりで一緒に説明する。
2:24:35	いいですか。
2:24:41	で小さく、細田です。通常の在庫の部分って、別に淡々とやりゃいい。はい。特に論点カロウジられたら、セットでチョロツと言えばいいと。はい。
2:24:53	ということで、通常じゃないものっていうと、加藤。

2:25:00	なわけ、それをこういうふうにしますよというときに、
2:25:05	ベースにまずこれがありましてというぐらいかなあ。
2:25:09	いうふうには思いますんで、そのときに、通常はここでやってっていうのが説明できてないと、何だそれみたいになっちゃうから、それに合わせられるようにやって、
2:25:21	本当じゃないかな。
2:25:28	いうふうに在庫の S A の在庫の説明、説明に必要なですね、
2:25:35	インプットたる条件の温度とか圧力っていうのは、一応仕様表の方に今結果結論ですけども、まとめておりますし、
2:25:44	やり方と含めて、
2:25:46	説明させていただければですね、在庫は代行でつくれる。
2:25:51	その上で、
2:25:52	S A 側で個別具体のその 130 度だとか、0.5MP a だっていったところの根拠はきちんと、
2:25:59	ご説明して参りますのでそこで、
2:26:01	疑義が生じなければ、そのまんま県だというか、周辺に書いてもらってた数字通りですねということで、流してくるかなというふうに思う。
2:26:11	はい。規制庁管です。わかりました。在庫ゼロまだ計算者と言ってないから、そういう話してて、
2:26:21	今度、この部分が進められます。
2:26:25	去年の段階だと、その特別の活動条件の話、一番最初に、
2:26:33	それ、それはそれでしょ。はい。はい。
2:26:37	とは言っても、供用状態の考え方みたいな。
2:26:42	はい。村松と話をして、
2:26:46	はい。
2:26:53	はい。それで、
2:26:57	第 1 部のときにも少し言いましたけれどもグループ 123 って何ですか。
2:27:02	いう。
2:27:03	ところがあって、
2:27:05	グループには、
2:27:08	グループでも、耐震がこのグループ 3 で書かれて、
2:27:12	新耐震在庫最初第五グループさんっていいですけど、
2:27:21	へえ。

2:27:24	ポーターとすると。
2:27:27	第1項ですね、グループ3のうちのメンバーに全部やらせるのか。
2:27:32	ていうのはちょっとどうかなという気も。
2:27:36	しているんですけど。
2:27:41	種田さん。
2:27:44	そういう面をした。
2:27:45	いや、すいません。
2:27:49	ですけど、
2:27:52	とりあえずスケジュール内容としては高まりとしてはこうなんで、
2:27:56	これで
2:27:58	調整をするのは構いません。はい。一方で、さっきも話あったように、グループS Aって言うてるグループ2のところが、その在庫に持ってかなきゃいけないことの関連っていうのがあるので、
2:28:10	それをちゃんと意識してやっていかないと、これも手元になる。
2:28:15	いうことだから、その辺りをよく考えてやってもらいます。
2:28:20	で、そうするとグループ12の、その計装関係とか、制御室緊対所だったりっていうのは、
2:28:29	一緒にやった方がいいはずで、
2:28:31	それはどう考えて今この表を書いてるんですか。
2:28:37	神戸。
2:28:38	どう考えて、
2:28:47	谷井です。
2:28:47	オオヒガシとかなんか、グループ2に変えたんで、メインがS Eというのはそこのところに合わせてそういう意味でDのところに出てきてるのかなと。
2:28:55	勝手に推察してたんですけどそれもなかった。
2:28:58	うんじゃなくて、中途半端、やはりある。
2:29:02	未成行政こと先生に関しては、S Aのウエイトが重いでグループに入っ
2:29:10	けども、他
2:29:12	先ほどの計装だとか、
2:29:15	保安電源とかっていうのも、安全、よくわからない。
2:29:23	うん。エンジン性に別段や定めるのは束ねるD案です。

2:29:29	我々も束ねてやるつもりではいるんですけど、
2:29:34	そこが何となく曖昧なので、はい。はっきりしてください。はい。先ほどの資料1とかにもあったように忘れてるような感じもあるんで、
2:29:44	忘れずにしっかりとここでやりますということもわかるように、
2:29:48	していただければ、
2:29:51	Dで、
2:29:53	基本的には計測系だとか電源とか、これはグループに側で寄せておいてもらえば、
2:30:06	一方で、
2:30:09	笠井井水云々というのは、
2:30:13	S Aも含めてグループ1側に寄せておいてもらったらば、
2:30:18	はい。
2:30:19	それも出席者としてはこちらは適宜、
2:30:24	グループ2側の人間もグループ1の方に参加したり、
2:30:29	外部に参加したい。
2:30:31	いうことは、
2:30:33	表としてはそういう形で言わせない。
2:30:36	どっちで整理してるかっていうのが認識共有できる。
2:31:10	規制庁の、
2:31:12	どうしましょうとか、何か第二部でも詳しくみたいな話がいったる中でちょっとな。
2:31:20	詳しく。
2:31:21	最後ぐらいで、何か第二部でも話を整理されるということです。
2:31:29	まず、二つやんなきゃいけないし申請書の形というか、そもそも論として、1項2項のそれぞれの関係が、申請書として成立する意味があるような、
2:31:39	形になっていないところが多々あるので、そこを是正するためにこういうふうに修正をしたいとか、もともとこういう考えで、
2:31:47	作ってましたみたいな話も含めて、さしていただかなきゃいけないのと、あとは最初の1の資料であった、第2ユーティリティのやつ。
2:31:56	外訪スカート工事はまだ工事として新品で成立ぎりぎりそんな感じはするんですけど第2ユーティリティはとてでもないですけど、危ないんであれも少なくともこういう申請書の形に、

2:32:06	させていただこうと思いますっていう考えは、我々として説明しないといかんかなと思ってますので、その説明は、別途資料を作って、ヒアリング組ませていただいてやろうと思ってます。はい。
2:32:20	これはあれですか、スーツ 08 中のヒアリングでは、できれば共通 08 に入れてやるっていうパターンにしたいなど。
2:32:27	そういう意味で共通 08 もどちらかと、段階的に物を作っていく形になっちゃうかもしれませんが、はい。
2:32:34	はい。
2:32:39	というのは 1 項申請っていう意味だと F の計算結果とか耐震強化、
2:32:44	これは、
2:32:46	はい。
2:32:47	見えないといけない。
2:32:49	わかるようにして、はい。多分移行側についての下にこうなのかって、そういうものを、
2:32:57	日本以降ぐらいにしてもらってました。
2:33:02	あとは、
2:33:03	規制庁駄目ですけども、仕様表が今回大分多いし、
2:33:09	何か本当に全部ある書き方平仄当てるとかもあるので、はい。それほどどうしようか実際、カクウ。
2:33:19	条文やった後に最後使用許可状況を確認するっていうことを、それも何かいろんな条文の関係性が、
2:33:25	一遍に、
2:33:26	はい。あとはずっとそこまで寝かしておくのかと、あらかじめどっかのタイミングで、
2:33:33	そうですね。仕様表は、1 回のときに、
2:33:38	共通どこだったかな、仕様表のサンプルじゃないですけど、こういう、
2:33:42	タイプに分けて、こういうことを書きますよみたいのをやっていたので、
2:33:46	それに、
2:33:48	習ってるものと、それと違ってたりするものがあるんであればそれをちゃんとピックアップして、それも
2:33:56	レベルのようにちょっと辛い気はするんですけどどっかに紐付けられないよね共通 06、

2:34:00	もしくは共通 08 を分解してその中に仕様表をつけて、
2:34:05	直さなきゃいけないものを明確にするとかですね、ちょっとやり方を考えて、提案させていただこうと思います。はい、そうです。少なくとも、
2:34:14	共通 09 とかにそう整合するかどうかを探って、
2:34:17	申請の中で、違ったふりをしてるところは、
2:34:20	見受けられたんですね。はい。はい。
2:34:25	そういうことですので、短信報道費の耐震の綺麗事ではないですけど、全体住民グループを見て、しかるべき共通の資料というのは、
2:34:40	そんな、
2:34:42	今月中とかって話ではないと思いますけど、
2:34:49	規制庁タケダですその他、確認等がございますでしょうか。
2:34:56	ですんで、今年の話はしましたけど、
2:35:00	1 年と言われます。
2:35:03	さらに半分ぐらいできるんじゃない。
2:35:08	これは南側ですか。
2:35:13	いうのは、いつお聞かせ。
2:35:17	あんまりない。
2:35:20	ないですよ。
2:35:22	どうもアジアのところ追加せられるのは、どんなマネジメントになってんだっていうのはよくわかりませんが、
2:35:31	一方で、
2:35:32	今までは続いても良くない。
2:35:35	今日は大体入口はわかったでしょうから先のことも、じゃあこういうふうにすればいいんだと。
2:35:40	いうことはおわかりになったと思うんで、
2:35:46	第 1 回会合でその次の 2 回だけではなくて、先のところまでについてこういうふうに進めたいっていうのは、
2:35:52	6 番目ぐらい。
2:35:55	今日ちょっとこの資料の、
2:36:00	もうちょっと、
2:36:01	稲岡板東。
2:36:03	有賀権田の目的ちゃんと、



2:36:05	何月に何を持っていく。
2:36:08	もう一度整理して、
2:36:11	そんなに遅くならない。
2:36:12	来週にでも、再来週ぐらいね。
2:36:16	来週は、まず当たり、海外社長は、その次の集会には、現状ちょっと、
2:36:26	はい。当然、戦えないだろうか。
2:36:33	はい。
2:36:37	規制庁竹田です。その他よろしいでしょうか。
2:36:42	よろしければ本日のヒアリングは以上とさせていただきます。お疲れ様でした。